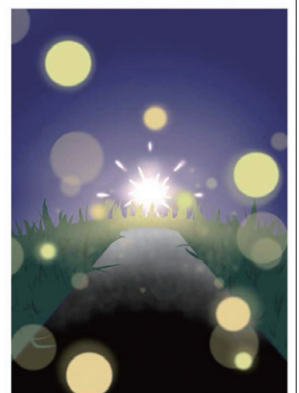


# ますみ

神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会



次  
学  
び  
の  
灯  
火  
へ



神奈川県立横浜平沼高等学校創立125周年

YOKOHAMA HIRANUMA  
SENIOR HIGH SCHOOL  
**125th**  
ANNIVERSARY

創立125周年記念生徒デザイン  
ポスター審査・準グランプリ受賞  
永安菜緒さん(124期)の作品

- 会長挨拶
- 理事・監事紹介
- 評議員会・総会報告
- 創立125周年記念事業
- ・記念式典
- ・プレ イベント
- ・校歌祭
- ・音楽劇「平沼高校と七つの扉」(ファイナルイベント)
- 創立125周年記念懇親会(ラストイベント)
- 学校だより
- 先輩セミナー
- 支部だより
- 縦の絆
- 校史あれこれ
- 十年ひとふし
- ますみだより
- 寄付者ご芳名
- 一括納入(終身会費)納入者
- 会員の作品

## 会長挨拶



### ごあいさつ

#### 真澄会会長 小野 力(71期)

会員の皆様には、日頃より真澄会の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。まずは、母校創立125周年記念事業が成功裏に終了したことに感謝申し上げます。本事業は、皆藤前会長、小島前校長先生、理事、教職員、PTA、実行委員会の皆様をはじめ、多くの卒業生や関係者の皆様のご尽力によって実現したものであります。長期間にわたりご支援、ご協力を賜りましたすべての皆様に、改めて敬意を表します。125年という歴史の重みを実感するとともに、

横浜平沼高等学校の伝統と校風が多くの方々によって支えられてきたことを改めて認識する機会となりました。

また、本年4月には82期生の吉野哲也校長先生が母校に着任されました。卒業生が母校の校長として学校運営の重責を担われることは、私たち真澄会にとっても大きな喜びであり、大変心強く感じております。母校と真澄会との連携がこれまで以上に深まり、生徒の皆さんの成長と学校のさらなる発展につながることを期待しております。

横浜平沼高等学校を巣立った卒業生は全国各地で活躍されています。卒業後何十年を経ても、母校で培った学びや友情、校歌に込められた思いは、私たちの心の支えであり続けています。真澄会は、その絆を未来へつなぐ組織として活動を続けてまいりました。本年度も総会、評議員会、理事会を開催し、事業計画や予算の策定、会員情報の管理など組織運営の充実に努めてまいります。また、

先輩セミナーをはじめ、卒業生への記念品贈呈、同期会支援、OB・OG会活動への助成、「青春かながわ校歌祭」への参加など、会員相互の交流を支える事業を継続してまいります。母校支援では、全国大会や関東大会へ出場する部活動への激励金・特別支援金支給、給付型奨学金制度の運営などを通じて、後輩たちの挑戦を応援いたします。また、歴史資料委員会による校史資料の保存・展示活動も継続し、横浜平沼高等学校の歴史と伝統を、次世代へ継承する取り組みを継続して進めます。社会環境が大きく変化する中にあっても、人と人とのつながりの価値は変わりません。真澄会は今後も、世代を超えた交流を育み、母校と卒業生を結ぶ架け橋としての役割を果たしてまいります。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝とご活躍、そして母校横浜平沼高等学校と真澄会のさらなる発展を心より祈念し、ご挨拶いたします。

### 年会費の「一括納入会費制度」のご案内

2024年度の総会で、真澄会費の「一括納入会費制度」を選択できる方法が承認されました。これまで年会費は2,000円で、70歳になると「終身会費制度」を選択でき、20,000円を一括納入することで以降の年会費は免除されていました。しかし、制度変更により、「終身会費制度」の「70歳以上」という年齢制限が撤廃され、すべての会員が「一括納入会費制度」を選択することができるようになりました。

この制度を選択した方はこれまでの未納分の有無にかかわらず、以降の年会費が免除されます。創立125周年記念事業の一環として2025年度・2026年度の2年間で推奨期間としています。ぜひこの機

会に同封の振込用紙で「一括納入会費制度」をご活用ください。なお、会費免除中の119期から123期のみなさまが「一括納入会費制度」を選択する場合は10,000円を納入してください。会費免除となっていない方には、同封の振込票に振込口座が印刷されておりますが、こちらにもご案内いたします。振り込む際にはお名前の後に卒業期とクラスを記入してください。(例:75キ8)

ゆうちょ銀行:口座記号番号:00230=6=1202(右寄せ)  
加入者名:神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会 真澄会

## 新理事・監事



武田(安永)容子 64期  
軽音同好会



岸村(内田)恵子 71期  
ソフトボール部



岩井 未知男 74期  
応援団



岸野 滋 74期  
放送部



土谷 信雄 74期  
柔道部・無線部



村中(水品)和代 75期  
写真部



小林(山下)陽子 79期  
ソフトボール部



佐野(野村)紀子 79期 【監事】平井(佐藤)洋子 71期  
陸上部



## 現理事・監事・顧問

【現理事】 小野 力(71期) 松本(奥坂)伊戸美(73期)  
正木裕二(73期) 平井正之(74期)  
矢崎真理(74期) 木原 透(75期)  
渡邊和彦(75期) 須藤尚紀(78期)  
加藤(新山)未知(82期) 岡本康宏(通48)

【現監事】 柴田典明(72期)

【顧問】 皆藤慎一(62期)

## 退任理事・監事

【退任理事】 皆藤慎一(62期) 桐生達夫(65期)  
山本克己(72期) 柴田康男(73期)  
牧野(笠井)薫(73期) 鈴木(茅野)久美子(75期)  
坪井俊之(75期) 豊田哲志(75期)  
【退任監事】 枅崎一之(62期)



## 評議員会報告

2026年4月19日(日)13時30分から15時まで、母校第二視聴覚室においてオンライン併用で評議員会が開催されました。評議員の出席者は視聴覚室に18名、オンラインで4名。その他真澄会理事および事務局スタッフが出席しました。

議長には上大田智晃さん(92期)が選出され、議案書に記載されたすべての議案が原案どおり承認されました。

また、真澄会監事である柊崎一之さん(62



期)、柴田典明さん(72期)による監査報告も行われました。

第1、2号議案 2025(令和7)年度事業報告および2025(令和7)年度決算報告

第3、4号議案 2026(令和8)年度事業計画(案)および2026(令和8)年度予算(案)  
第5号議案 懇親会(ラストイベント)への真澄会の費用負担について

第6号議案「激励金・特別支援金交付規程」の改正

第7号議案 役員の改選

報告事項:創立125周年記念事業について  
評議員の方から、創立125周年記念事業の決算について質問がありました。これに対して、タウンニュースの配布エリアを当初の予定より拡大するなど、広報戦略に費用がかさみましたが、その結果として広く母校の魅力を知っていただくことにつながり、さらに、その後実

施したファイナルイベントには、卒業生以外の方も含め多くの来場者があったことを説明しました。また、会費一括納入制度を中心に、今後の財政課題や財政見通しについて、より明確にしてほしいとのご意見をいただきました。

### 123期 評議員



123期生の評議員です。

後列左から  
落合 楓さん 伊地知莉音さん

前列左から  
古川翔琉さん 齋 苺之助さん 河合 駿さん

## 総会報告



2026年5月17日(日)、母校小ホールにて、2026年(令和8)度 真澄会総会が開催されました。吉野哲也校長(新着任、82期)、三上実副校長(新着任)、川崎幸教頭(82期)、片岡節子事務長(新着任)にご臨席いただき、厳かな雰囲気の中で行われました。吉野哲也校長は、母校卒業生としては、現真澄会会長の小野力さん(71期)に続く二人目の校長です。

皆藤慎一会長(62期)、真澄会の名誉会長

でもある吉野哲也校長の挨拶のあと、議長には矢崎真理さん(74期)、書記に正木裕二さん(73期)が選出されました。会場の小ホールには会員(理事、監事、事務局スタッフ含む)60名が参加し、第1号議案から第6号議案まですべての議案が承認されました。総会議案書は真澄会ホームページでご覧いただけます。(右上QRコードご参照ください)また、今年は現理事・監事及び新任理事の

改選が行われ臨時理事会において会長に小野力さん、副会長に松本伊戸美さん(73期)、矢崎真理さん、渡邊和彦さん(75期)が選ばれ総会で承認されたほか、空席だった顧問には皆藤慎一さんが就任しました。改選で新役員(理事・監事・顧問)は21名となり、今後の真澄会の活動を担ってまいります。ご協力をよろしくお願いします。



### 2027(令和9)年度 真澄会総会・懇親会のご案内

#### 総会

○日 時:2027年5月16日(日)13時30分より  
○場 所:母校小ホール

#### 懇親会

○日 時:総会当日16時より ○場 所:ホテル・ザ・ノット ヨコハマ2階  
○会 費:6,000円(当日会場にて集めます)  
○申込み:参加ご希望の方は、必ず事前に真澄会に申込みの上、総会にもご出席ください。  
Tel.045-311-3356(火曜日10時~16時のみ在室)  
事務局 e-mail:jimukyoku@masumikai.org



交通事故、相続・遺言、離婚、借金・債務整理、刑事、労働、不動産、借地借家、会社法務、誹謗中傷等

## ベアヴェニュー法律事務所

さとう たかし  
弁護士 佐藤 隆 志(98期)

日本大通り駅から徒歩4分、関内駅から徒歩8分

〒231-0007横浜市中区弁天通2丁目21番地 アトム関内ビル6階

TEL: 045-319-4486 FAX: 045-319-4487 <https://bay-ave.jp> E-mail: t-sato@bay-ave.jp

真澄会の方  
初回相談料  
30分無料

神奈川県弁護士会所属



# 創立125周年記念式典

2025年11月7日(金) 場所:パシフィコ横浜国立大ホール

## ご挨拶

●  
実行委員長  
皆藤慎一(62期)



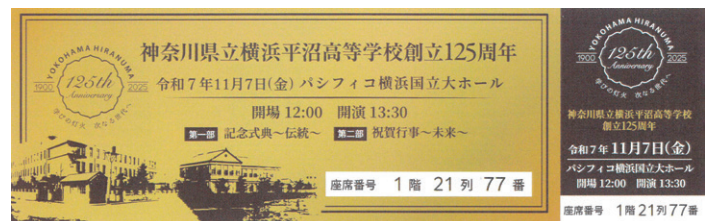
昨年、神奈川県立横浜平沼高等学校は創立125周年を迎えました。ここに至るまで母校を支えてくださった学校関係者の方々、真澄会員の皆さま、地域、保護者の皆さまのご理解とご尽力に、心より感謝申し上げます。

1901年5月、神奈川県高等女学校として178名の第1期生を迎え入学式を挙行し、5月5日に開校式を行い、この日を「開校記念日」と決めました。以来、女子校として50年、戦後は男女共学の神奈川県立横浜平沼高等学校として75年の歴史を積み重ね、今日に至っております。長きにわたり脈々と受け継がれてきた伝統は、本校の誇りであり、後輩たちにとって大きな力となっております。創立125周年記念事業は、学校・PTA・真澄会(三者)による実行委員会を発足させ、2年にわたり準備



を進めてまいりました。一昨年11月のキックオフイベントをはじめ、「開校記念日」行事や「校歌史タイムトリップ」、さらにはかつての伝統行事である「平翠戦(翠嵐高校との体育対抗戦)」の復活、軽音イベントなど、多彩な催しを実施し、在校生・卒業生の交流を深める機会ともなりました。昨年11月17日にパシフィコ横浜で行われた記念式典は第Ⅰ部「記念式典～伝統～」、第Ⅱ部「記念行事～未来～」の二部構成により行われ、世代を超えたつながりを実感しつつ、全校生徒・教職員・卒業生が一体となり、母校の新たな歩みを祝い合うひとときとなりました。また、真澄会独自企画としてファイナルイベント(音楽劇)、ラストイベント(記念懇親会)を行い、すべての事業を無事に終えることができました。心より皆さまに感謝申し上げます。

次なる節目である創立150周年(共学100周年)を見据え、母校の一層の発展と、生徒諸君の輝かしい未来、そして卒業生のさらなる活躍を心より祈念いたします。



## 記念式典報告

●  
副会長  
松本(奥坂)伊戸美  
(73期)

母校創立125周年記念事業のメインイベントとなる記念式典は、11月7日(金)パシフィコ横浜国立大ホールで挙行されました。当日は沢山の会員にご出席いただき、客席は生徒、教職員、保護者、招待客を含め約3,100人で埋め尽くされました。皆様にご協力いただいた結果、盛

会に終わりましたこと御礼申し上げます。  
2部で構成された式典。1部では、皆藤慎一真澄会会長(記念事業実行委員長)、小島由美校長(同副委員長)、生徒実行委員長古川翔琉さん(123期)らの式辞に続き、ニュースキャスター吉川美代子さん(70期)、落語家の柳家小せん師匠(河野重信さん・90期)からのビデオレターが披露されました。また、125周年記念ポスターのデザイン審査入賞者へは、審査員長の伊藤有壱さん(東京藝術大学大学院教授・78期)からの講評に続き、賞状が渡されました。1部の最後は、昨年秋の「青春かながわ校歌祭」に出場した合唱団と合唱部のリードで校歌斉唱。

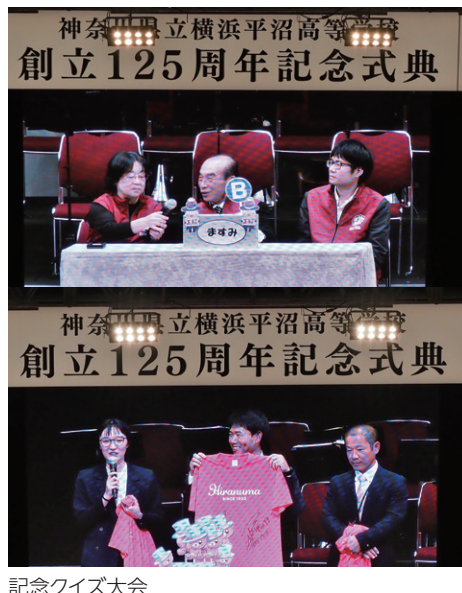
2部は吹奏楽部の演奏に始まり、生徒・教職員・真澄会対抗の平沼クイズ大会。学校の歴史に関する問題も含まれていることが予想され、真澄会は優勝候補でしたが、教員チームに勝ちを譲る結果となりました。ダンス部のパフォーマンスに続いては、今回式典の司会を務めていただいたABC朝日放送アナウンサー柴田博さん(84期)、フリーアナウンサー羽鳥慎一さん(86期)、会場アナウンスを担当していただいた演歌歌手の千葉山貴公さん(94期)による先輩トークショー。羽鳥さんの現役時代に野球部の学生監督として指導に当たった吉野哲也さん(82期)の司会で、次々披露される楽しいエピソードに会場は盛り上がりしました。フィナーレには吹奏楽部とダンス部が再び登場。「銀河鉄道999」のメロディーに合わせて、客席からは大きな手拍子が沸き起こりました。会場のロビーには、校舎と制服の変遷をまとめたパネルや、通信制課程の思い出を展示し、開式前や休憩時間に多くの方にご覧いただきました。

生徒にとっても、会員の皆様にとっても平沼のパワーを再認識する一日となったことと思います。









記念クイズ大会



ダンス部記念パフォーマンス



フィナーレ(銀河鉄道999)

## 卒業生からの プレゼント大抽選会

第一部と第二部の間の時間に、プレゼント抽選会を行いました。  
卒業生から、全生徒に当たるようにたくさんの景品を提供していただきました。  
当選番号が読み上げられる度に、大歓声があがり、大変盛り上がりしました。

### 《プレゼントと提供者》



☆吉原直樹さん(71期)  
(株)アルテジェネシス代表取締役会長  
自社オリジナルアメニティセット・5セット  
(ホテルニューオータニ・スイートルーム用)



☆宮坂典利さん(73期)  
みのり建設・ハケ岳みらい菜園代表取締役社長  
カゴメトマトジュース・野菜ジュース 60本



☆石井(稲柳)太さん(74期)  
ハーバーと記念てぬぐい 150セット



☆武田(安永)容子さん(64期)  
高橋(高橋)節子さん(75期)  
ライブビスケット 240個(更生保護女性会オリジナル)



☆柴田 博さん(84期)  
朝日放送アナウンサー  
エビシーのハンドソープと泉州タオル  
5セット



☆羽鳥慎一さん(86期)  
フリーアナウンサー  
テレビ朝日オリジナルGOLF ボールと  
タオルのセット 5セット

創立125周年記念式典協力企業

We  
don't say

NO

どんな要望や変化にも柔軟に対応し  
「NO」と言わないのが私たちの誇りです

業務内容

イベント・展示会・講演会・式典・コンサート・演劇  
ディスプレイ広告・web・印刷デザイン・映像制作

株式会社オフサイド

横浜市西区みなとみらい 2-3-5 クイーンズタワー C 18 階 TEL : 045-661-0622



HP はこちら



イベント  
「校歌史タイムトリップ」  
7月27日(日) 母校小ホール

校歌の作曲家:幸田延について、瀧井敬子さん(62期)と二宮玲子さん(75期)によるトークショー。

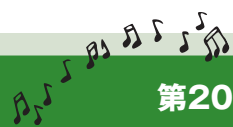
幸田延作曲の「ヴァイオリンソナタ第2番ニ短調」をヴァイオリニストの中務雅子さん(75期)とピアニスト榎本智史さん(108期)がアンサンブル演奏を披露しました。

現役生、真澄会員、外部演奏家を合わせた63名が出演し、出演者・観客ともに母校の校歌を深く学び、楽しむ機会となりました。



イベント  
「THE 軽音LIVE」  
10月19日(日) 母校小ホール

平沼高校と翠嵐高校の軽音楽部が合同で開催したLIVEイベント「軽音楽平翠戦」が実現しました。卒業生バンドも2組出演し、まさに「世代を超えた平翠の絆」が音楽を通して結ばれる場となりました。記念式典に向けた機運を高める、素晴らしいイベントとなりました。



## 第20回 青春かながわ校歌祭

2025年10月18日(土)やまと芸術文化ホールで開催されました。

「校歌」と「横浜は バラの街」(作詞:荻本敦子 作曲:吉田孝古麿)を総勢100名の団員で披露しました。現役生、真澄会員でもある教職員も参加し、特に現役生の若い伸びやかな歌声は会場に響きわたり、他校の方々からも「さすが平沼さん!」と喝采を受けました。創立125周年記念Tシャツを全員で着用し世代を超えた一体感あふれる舞台となりました。

## 2026年「第21回青春かながわ校歌祭」のお知らせ

♪2026年10月24日(土)  
♪南足柄市文化会館  
(南足柄市関本415-1 Tel:0465-73-5111)  
伊豆箱根鉄道大雄山線「大雄山」駅下車徒歩10分  
♪「校歌」・「こんにちは!ぼくらのふるさと」(マロ先生作曲)  
合唱団員募集中です♪  
jimukyoku@masumikai.org まで

## 校歌祭をふりかえって

平沼高校真澄会合唱団は、現役高校生も含め総勢100名。その指揮を務めさせていただいた事は大変うれしく、光栄で、幸せな事でした。厳しい暑さの中、練習のため5回も平沼高校へ通い、素晴らしいハーモニーをつくってくれた皆さんに感謝です。

思い起こせば、2000年、平沼高校創立100周年記念音楽式典のために同窓生が集まりました。「美しき青きドナウ」を歌ったと記憶しています。その時に思いがけず合唱部の同期生がご夫婦で参加されていてうれしい再会となりました。



その6年後、第一回「青春かながわ校歌祭」がありました。創立100周年記念合唱団のメンバーに声をかけられ、校歌祭真澄会合唱団が結成され、以来ほとんど毎年恒例となっているわけです。各期で同期会は行われていると思いますが、校歌祭に参加する

と先輩、後輩、現役高校生とも交流の機会を得られるので、それも楽しみの一つです。そして指揮者の立場から言わせてもらおうと、これだけの人数による合唱はパワーがあり感動の経験を得られます。合唱経験がなくても大丈夫!みんなで練習を重ね感動のステージを共有してみませんか!

清水(牛草)栄里(72期)







## 創立125周年記念事業 音楽劇「平沼高校と七つの扉」(ファイナルイベント)



2020年 母校創立125周年を5年後に控えたこの年、遠藤玲子さん(71期)は過去の記念事業の実行委員をされたご経験から、仮に125周年イベントを行うのであれば今から準備しないと…と、自ら母校卒で音楽方面・演劇・舞踊方面・美術方面で活躍されている方々などに少しづつ声をかけられ、LINEグループを作成されました。2年後、理事となり、同志をさらに増やしていきました。先輩セミナーにご登壇された二宮玲子さん(75期)、吉岡小鼓音さん(79期)、須藤尚紀さん(78期)、高橋研二さん(88期)等が中心となり、総勢30名程のグループを立ち上げ、アイデアを出し合いました。2023年末に125周年記念事業実行委員会が発足、2年後の2025年11月に開催された記念式典を盛り上げていく為にプレイベント、ファイナルイベント、

ラストイベントが真澄会主催イベントとして委員会で決定されました。実に原案から4年強の歳月を経て、この音楽劇がファイナルイベントとして実現されたことになります。現代と過去を行き来する二人の主人公が「七つの扉」をくぐりながら物語が進行していきます。戦前・戦中・戦後の激動の時代を表現し、特に横浜大空襲のことを表現しつつ、次世代を担う若い方々に、今を生きることのすばらしさを託すような音楽劇を創りあげました。2025年6月には演出家・脚本家に母校史の説明が行われ、「九つ高女の数え歌」などをヒントに、劇中歌「平沼の七秘密」が誕生しました。



また、吉岡小鼓音さんと神田沙央理さん(94期)には長台詞と歌唱を担当していただき、卒業生によるオーケストラも参加。出演者の皆さんには衣裳としてジャンパースカートを着用していただき、気持ちは高校生へとタイムトリップしたかのような舞台となりました。脚本が12月に脱稿。二宮さん作曲のオリジナル楽曲が2月に完成。その間に吉岡さんが参加してくださる方々の稽古を自らのスタジオを開放してお稽古。舞台での通し稽古は限られた時間の中で行われましたが、出演者の熱意と努力によって見事な舞台が作り上げられました。当日の様子は、ぜひホームページに掲載されている映像をご覧ください。何度でも見返したくなる感動の舞台です。



## 創立125周年記念懇親会開催(ラストイベント)

総会後、横浜ベイシェラトンホテル&タワーズにて真澄会懇親会が開催されました。今回は、母校創立125周年記念懇親会「ラストイベント」として、吉野哲也校長をはじめ来賓4名をお迎えしたほか、7名の恩師にもご出席いただき、48期から123期までの会



員約280名が一堂に会して、世代を超えた交流が盛大かつ和やかに行われました。

元会長・加藤廉さん(65期)の乾杯のご発声に続き、島田弘一郎先生による部活動の紹介や、鈴木豊男子先生、鶴澤三智子先生、大森哲夫先生が当時のエピソードをお話しくださり、参加者が平沼高校生徒の歴代の活躍に思いを馳せました。

このほか、125周年記念音楽劇(ファイナルイベント)で披露された「平沼の七秘密」や「コールユーブンゲンメドレー」も再演され会場は大きな拍手に包まれました。続く校



歌斉唱は野村慎一郎さん(75期)の指揮のもと、オー

ケストラ部OBの演奏と共に行われ、須藤尚紀さん(78期)によるエールで「フレイフレイ平高!」の掛け声とともに会場の熱気は最高潮に達しました。

最後に、参加者の中で最も先輩にあたる高女時代の松山(石川)英子さん(48期)、吉岡(毛塚)康子さん(49期)のお二人にご登壇いただき、貴重なお話とご感想をいただきました。また、新入会員の123期生からは、将来にむけての抱負も語られ、懇親会は盛会のうちに幕を閉じました。



# 新興電設工業株式会社

電気設備工事・電気通信工事・管工事

住所：〒220-0042 横浜市西区戸部町2-46-1

電話：045-241-7711

代表取締役 池松 忠彦 (62期)  
工事部 竹田 拓矢 (110期)

新興電設工業  
WEBサイトはこちらから



<https://www.shinkodensetsu.co.jp>







## 真澄会会員の皆さまへ 校長 吉野 哲也

真澄会会員の皆さまにはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。本校の第33代校長を務めさせていただいております吉野哲也と申します。私は本校の82期卒業生でもあるので、この同窓会報を通じてご挨拶申し上げる機会をいただいたことを、大変光栄に思います。

横浜平沼高校は、明治33年の創立以来、多くの歴史と伝統を築き、126年という輝かしい歩みを重ねてまいりました。これまで本校から巣立ち、各界でご活躍されている卒業生の皆さまのおかげで、横浜平沼

高校の名声は絶えず輝いています。そのご活躍は、私たち教職員に誇りと励みを与えるだけでなく、現役の生徒たちにも大きな勇気と目標を示してくださっています。この場を借りて、長年本校を支え続けてくださる同窓生の皆さまに厚く御礼申し上げます。現在、本校では「人間性豊かで創造力と行動力にあふれ、指導的役割を果たせる人材」や「グローバル社会での活躍が期待される人材」の育成を目指し、教育を進めています。生徒たちは、日々の学びや部活動を通じて知識を磨くだけでなく、対話や協力を重ねることで、多様な価値観に触れながら未来を切り拓いていく力を育んでいます。我々教職員は、変化し続ける社会に対応できる人材を輩出するため、一丸となって教育活動に取り組んでおります。また、昨年は真澄会の多大なご理解とご協力のもと、125周年記念式典を盛大に開催することができました。この式典は、本校の歩みを振り返るとともに、次の時代を担う生徒たちへ伝統を受け継ぎ、未来への

一步を踏み出す良い機会となりました。同窓生の皆さまが支えてくださることで、学校と真澄会の関係がより良い形で深化していくものと確信しております。

本校の歴史と伝統を持続・発展させていくためには、卒業生の皆さまとのつながりが欠かせません。真澄会の活動は、学校の文化を次世代へと受け継ぐ大切な役割を果たしております。今後も変わらぬご支援を賜りたくお願い申し上げます。また、もしご都合が許せば、ぜひ一度母校に足を運び、現在の生徒たちの姿や学校の変化をご覧いただければ幸いです。時代は変わっても、横浜平沼高校の誇りと熱は今も変わっておりません。

同窓会の皆さまの温かな応援が、現役生徒の大きな励みとなり、彼らの未来を切り拓く力に繋がります。この学校がさらなる輝きを放つよう、私たちも尽力してまいります。皆さまのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



## 旅の途中で 副校長 三上 実

この春、創立125周年を経て、歴史を積み重ねてきた横浜平沼高等学校に、副校長として異動してまいりました。演劇部の活動に長く携わってきたことから、平沼の小ホールには何回かつかっていましたので、初めての勤務校ではありますが、何となく懐かしさを感じております。

私自身は、旅行を趣味のひとつとしており、高校時代から日本各地を旅してきました。

日本列島の隅々まで列車に揺られて、その土地の持つ空気感に触れ、自然と風土の奥深さを感じることができました。

幼少期の環境行動が、その後の人格形成に重要な意味を持つことは、発達心理学の分野ではよく言われています。人間の「土台作り」という点では、重要な時期とされています。

一方、10代から20代にかけての、「思春期」といわれる時期は、長い人生の中で、最も激しく揺れ動くものであると意味付けられています。

学齡的には小学校高学年から大学時代にかけて、そして、社会人として別の世界に踏み出す過程の中で、多くの人は「自分が何者であるか」「自分は何のために存在するのか」について、ある時は自問自答し、ある時は他者との関係性の中で、ひとつの方向性を探っていきます。しかし、その答えがすぐに見つ

かるかどうかはわかりません。その時の選択肢が、果たして正しいものであるか、最適解であるかどうかは、ある程度の経験と時間を経てみないとわからないでしょう。それでも、この時期は人生の中でかけがえのないものを得ることができる大切なステップです。

そうした貴重な時期を、横浜平沼高等学校という学びの場で過ごす生徒の皆さんと関わることは、こちらにとっても貴重な経験であると考えます。本校を卒業された皆さまも、おそらくこの学びの場を経て、さまざまな経験を重ねて、今の人生を歩まれていることと思います。

諸先輩が作られた足跡の後に、新たな旅を続ける若い世代の存在があります。一人ひとりにとってかけがえのない旅の先に、可能性を持った未来があることを祈りつつ、真澄会の皆さまのご助力をいただけると幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



平翠戦  
平沼高校・翠嵐高校 交流事業



平沼

16点

翠嵐

19点

平翠戦の模様は真澄会  
ホームページをご覧ください





第24回 体育祭 5月8日(金)

教諭:甲斐 俊行

延期を乗り越え、ようやく迎えた本番の日。待ち焦がれた時間の分だけ思いは深く、互

いに励まし合い、声をかけ合いながら最後まで諦めずに取り組む姿は、見る者の心を強く揺さぶりました。競技の中で交わされた真剣なまなざしや、仲間の名を力いっぱい呼ぶ声、全力を出し切った後の達成感に満ちた表情の一つ一つが、この日の特別さを物語っていました。勝敗だけでは測る

ことのできない強さと絆が確かに育まれ、流した汗のすべてが努力の証として、心に深く刻まれる大切な財産となりました。この体育祭で得た経験は、これからの学校生活の中で大きな支えとなり、困難に立ち向かう力や仲間を思いやる心として生かされていくことでしょう。そして、この一日のきらめきは、皆さんの未来への歩みを力強く照らし続けてくれるはずです。教職員一同、皆さんが見せてくれたひたむきな姿と輝きを心から誇りに思うとともに、これからのさらなる成長を大いに期待しています。



第49回 平沼祭

教諭:高木 進玄

第49回平沼祭が令和8年7月4日(土)、7月5日(日)の2日間で開催されました。直前まで雨予報でしたが、当日は2日間とも天候に恵まれ、延べ8000人を越える来場者があり大盛況のうちに終了しました。1年生が展示・アトラクション、2年生が模擬店、3年生がクラス劇を実施し、各クラスが工夫を凝らした展示や発表を行っていました。特に3年生の

クラス劇は1か月以上前から大道具の制作やセリフの練習を始めており、受験前の最後の行事を素晴らしいものにしようという3年生の意気込みが感じられました。部活動も普段の活動や練習の成果を展示・発表しており、多くの来場者で賑わっていました。今年度の平沼祭のテーマは「HI☆RA☆NU☆MA ～爆裂沼ってる～」で、どの企画も「夢中になり、抜け出せなくなる」



まさに「沼る」ものばかりで、素晴らしい平沼祭となりました。



124期 修学旅行[2025年10月7日(火)～10日(金)]

教諭:竹林 滉平

昨年度の修学旅行では、岡山や大阪を訪れ、班での自主行動や体験学習を通して多くのことを学びました。初日は倉敷の町並みなどを散策し、生徒は自然風景の美しさに魅了されていました。2日目には姫路城の歴史

に触れ日本の文化の奥深さを実感した班や、しまなみ海道をサイクリングしながら絶景を眺めた班、金比羅山近くのうどん屋さんでうどん作りを楽しんだ班がありました。3日目のUSJではアトラクションやイベントで楽しみ、4日目の大阪万博では新しい技術を知ることができました。また、各国のスタッフとのかかわりを通し多様な価値観に触れ視野が広がりました。生徒たちは班別で活動していくなかで仲間と協力し思いやりを持つこと。時間を守って行動することの大切さを実感していました。

4日間天候に恵まれ、大きなトラブルもなく生徒全員が無事に楽しく過ごしました。職員一同、生徒にとって一生の思い出になったと感じています。





| 国公立大学       |     |           |     | 私立大学   |     |        |     |          |      |
|-------------|-----|-----------|-----|--------|-----|--------|-----|----------|------|
| 横浜国立大学      | 10人 | お茶の水女子大学  | 1人  | 明治学院大学 | 51人 | 早稲田大学  | 24人 | 北里大学     | 7人   |
| 横浜国立大学      | 10人 | 電気通信大学    | 1人  | 明治大学   | 47人 | 國學院大學  | 19人 | 上智大学     | 7人   |
| 神奈川県立保健福祉大学 | 5人  | 東京海洋大学    | 1人  | 青山学院大学 | 43人 | 関東学院大学 | 18人 | 成蹊大学     | 6人   |
| 東京都立大学      | 3人  | 東京科学大学    | 1人  | 法政大学   | 42人 | 日本女子大学 | 17人 | 昭和薬科大学   | 5人   |
| 東京学芸大学      | 2人  | 東京農工大学    | 1人  | 神奈川大学  | 39人 | 成城大学   | 16人 | 東京薬科大学   | 5人   |
| 東京芸術大学      | 2人  | 山梨大学      | 1人  | 東洋大学   | 38人 | 学習院大学  | 15人 | 星薬科大学    | 5人   |
| 川崎市立看護大学    | 2人  | 岡山県立大学    | 1人  | 日本大学   | 35人 | 東京農業大学 | 15人 | 東京女子大学   | 4人   |
| 弘前大学        | 1人  | 国公立大学合格者計 | 46人 | 立教大学   | 35人 | 慶應義塾大学 | 14人 | 共立女子大学   | 2人   |
| 福島大学        | 1人  |           |     | 中央大学   | 34人 | 東京都市大学 | 14人 | フェリス学院大学 | 2人   |
| 茨城大学        | 1人  |           |     | 専修大学   | 31人 | 東京理科大学 | 13人 | 津田塾大学    | 1人   |
| 筑波大学        | 1人  |           |     | 東海大学   | 30人 | 多摩美術大学 | 12人 | 私立大学合格者計 | 684人 |
| 埼玉大学        | 1人  |           |     | 駒澤大学   | 28人 | 昭和女子大学 | 10人 |          |      |

[illegible]

(真澄会激励金贈呈)

## ★弓道部女子(団体)

### ★弓道部(個人)

### ★かるた部(個人)

## ★女子ハンドボール部(個人)

### ★女子ハンドボール部(個人)

★吹奏楽部(団体)

★女子ハンドボール部(個人)

### ★かるた部(団体)

### ★かるた部(個人)

### ★弓道部(個人)

★ダンス部(団体)

### ★弓道部男子(団体)

◇令和7年度第25回東日本高等学校弓道大会(茨城県水戸市)

### ★女子ハンドボール部(団体)

### ★弓道部男子(団体)

## ★かるた部(団体)

### ★かるた部(個人)

## ★弓道部(個人)

◇令和8年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)宮崎慶昭(和歌山県)

初回到5点を先制し、期待を持たせてくれる立ち上がりでしたが、7回到にピッチャーが足をつるという不運なアクシデントがありました。急遽登板した投手には大きな重圧となり、残念ながら悔しい結果(5-12)となりました。しかし、選手たちは最後まで本当によく頑張りました。この悔しさをどう次につなげていくのか、その経験は、きっと一人ひとりの今後に活かされることでしょう。

吉野校長をはじめ、多くの卒業生も応援に駆けつけ、揃いのメガホンや団扇を手に、選手たちに負けられないほど力が入った応援を送っていました。

校歌や応援歌の演奏がないスタンドは少し寂しく感じましたが、今後に期待したいと思います。

(2026年7月11日(土)いせはらサンシャイン  
スタジアムにて:対相模原弥栄高校)

須藤尚紀(78期)







## 令和7年度 先輩セミナー [7月3日]

2025年7月3日(木)に1年生を対象としたキャリア教育の一環として、社会のさまざまな分野で活躍している卒業生を講師とした「先輩セミナー」が実施されました。(※内容と感想は生徒の皆さんが執筆した「花橘」からの抜粋です。) 写真提供:石橋篤教諭

### 坂元 昇(68期)

川崎市立看護大学長



坂元さんは、「やりたいことは取り敢えずやる」という方針から、海外や社会で様々な経験を積まれたそうです。海外に渡って精神医学や哲学などを学び、仕事をされた経験から、日本の若い世代が海外で活躍していない現状を指摘し、海外に行くことを勧められていました。また、公衆衛生学を中心に活動を行っており、ワクチン導入について国会で演説をするなど、坂元さんの「行動さえすれば何かは手に入る」という言葉どおり様々な行動で社会に貢献されています。

**感想:**坂元さんの話を聞き、経験と行動の大切さを感じました。私は興味を持ったことがあっても、リスクを考え行動に移せないことが多いです。そのため、坂元さんの「やりたいことは取り敢えずやる」「行動さえすれば何かは手に入る」という言葉は、私にとって衝撃的なものでした。そして今までやらずに逃したチャンスの重みを知ったと共に、これからの未来はチャンスに溢れているのだと感じました。これからは私も興味のあるものに対して行動を起こし、経験を積んでいきたいです。

### 南條 玄(104期)

経営者



飲食店の経営や卸売業等多岐にわたり活躍している南條さんが、これからの時代について話してくださいました。その内容は主に二つあります。一つ目はAIに負けないような人材になるために何をすべきか、二つ目はこれからの時代は変化がより急速になるため、より一層必要な力があるということです。南條さんは、AIが苦手とする問いを立てる力、人の気持ちを理解すること、何かを創造する力を伸ばしていくこと、また物事を鵜呑みにせず自分の頭で考えるクリティカルシンキングが、今後、より重要になるとおっしゃっていました。また、変化が激しくなる時代に対応するには、物事の本質をしっかりと考えて自分で選択することが重要だそうです。

**感想:**南條さんの話を聞き、AIの得手不得手を知り、変化がより急速で激しい時代になにが重要なのかをいろいろと知ることができたので、とても有意義な時間になりました。この話を受けて、人が多いことを理由に多数派の意見につくのではなく、自分の中でその意見のメリットデメリットを考えて、それを踏まえて自分の考えに最も合った意見を選ぶようにしようと思いました。

### 酒井 一輝(103期)

フレーバー研究員



酒井さんは、主に食品や香粧品向けの香料を制作する長谷川香料株式会社のアプリケーションセンターで、フレーバー研究員として働いている。高校卒業後は近畿大学農学部食品栄養学科へ進学し、そこで管理栄養士の資格を取得して食品関連の企業へ就職した後、転職して現在の職に就かれている。主な仕事内容は、商品の最終的な形を想定した風味評価・開発のサポート・様々な商品の提案や検証などだそうです。酒井さんの経験から、このような仕事に就くために必ず持っていなければならない資格などは無いそうだが、理系(特に化学分野)の勉強をしていると仕事内容と繋がる部分も多く有利であるという。

**感想:**酒井さんは幼い頃から食べることが好きだったという理由で、食品関連の職業に就きたいと考えたそうです。そのためにはどのような勉強が必要か、どのような資格が必要かを、高校生の時に図書館などでたくさん調べたと話していた。その結果、目指す職に就くには自身が苦手としている理系に進まなければならないかったそうだ。しかし苦手よりも好きと興味を優先してみようという気持ちから進路を決めたという。私は好きなことを仕事にするのはそう簡単なことではないと思うが、酒井さんのように、自分の得手不得手で進路を決めるのではなく、将来のことや興味関心を優先して進路を決めれば自らが望む将来へ少し近付けるかもしれないと思った。

### 小林 康之(79期)

警察官



小林さんは、田浦警察署の署長をされていたそうで、署長の仕事にはテレビに出たり新聞に載ったりとメディアの仕事なども多いそうです。そのほかにも、小林さんが在学していた当時の創立80周年頃の平沼高校の様子も教えていただきました。昔の校舎は三階建てだったり、文化祭は三年に一度だったり、今ではなかなか考えられない風景や、体育祭はこの頃から四季組が続いていることも知り、平沼の歴史の深さを学ばせていただきました。

**感想:**私が今回の講義で学んだことは主に二つあります。一つ目は仕事をする上での発見やその仕事ならではの知識があるということです。特に印象に残ったのは、パトカーはヘリから見ても所属がわかるように屋根部分に番号が書かれているということです。世の中にはまだまだ今まで気づかなかったことがあるのだと驚きました。二つ目は平沼高校の歴史の深さです。昔と全く変わったこともあれば、今でも受け継がれているものもあり、先輩たちが作り上げてきた歴史の深さを実感しました。今回の講義では人生の教訓として高校時代の性格、興味、友人などは大人になって生きていくうえでも大切になってくるということ、自分の心の拠り所を持つことが大切だということを教えていただきました。

今年度の先輩セミナーは7月9日(木)に行われました。  
講師は次の8人の方々です。講演内容はすみ69号で報告いたします。



**佐藤 隆志(98期)**

弁護士



弁護士は社会の「困った」を解決する仕事で、人同士の問題や会社、国際間の問題に加えて、最近ではネットの誹謗中傷などの問題にも対応する。そういう困っている人たちの役に立てることが何よりのやりがいだとおっしゃっていた。仕事内容は法廷に立つ以外にも法律相談や契約書作成、逮捕や拘留された人との接見など多岐にわたる。弁護士になるには、まず司法試験の受験資格を得るために大学卒業後に法科大学院に行くか、司法試験予備試験を受け、そして難関の司法試験に合格しなければならない。さらに一年程度の司法修習で実務を学んでついに弁護士登録ができる。佐藤さんは「とにかく法律の専門知識をたくさん学び、論理的な思考能力を身につけることが重要」とおっしゃっていた。

**感想:** 弁護士という裁判をイメージするが、それ以外にも様々な仕事をしてとても大変だなと思った。しかし常に学び成長でき、中には生きるか死ぬかの瀬戸際のような人も助けることができ、心から感謝されることもあり、「この仕事をやっていて良かった」と喜びを得ることができるのはとても良いことだなと思った。また、テレビドラマ等では弁護士が法廷で相手に捲し立てるように喋る場面があるが、実際は人の話を丁寧に聴いてあげられる人の方が弁護士に向いているそうだ。確かに相手を責めたり追い詰めるより、冷静に相手の話に耳を傾けるほうが大人だし、とても重要なことだと気付かされた。

**菅原 由夏(103期)**

看護師



菅原さんは現在、障がい児や医療的なケアが必要な児童がいる家庭に訪問し、支援を行う医療的ケアシッターとして働いています。高校生の時に行った看護師体験で、自分がしたことで誰かに感謝されることにうれしさを感じ、看護師になるという夢を目指し始めたそうです。医療的ケアシッターになる前は訪問看護師として働いていましたが、訪問看護には時間に制限があり、短い時間しか訪問することができませんでした。医療的ケア児や障がいのある子を持つ親は休みづらいため、少しでも長く訪問して、より子どもとその親の力になれる医療的ケアシッターという道を選びました。子どもとじっくり関わるようになり、子どもたちそれぞれの「うれしい」「楽しい」など感情のサインがわかるようになったときが一番うれしく、仕事にやりがいを感じるそうです。

**感想:** 私は今回の話の中で、「医療的ケア児」という子どもたちのことや、その親が抱える苦勞のことを初めて知りました。私たちの目に見えていない場所でも、支援を必要としている人たちはたくさんいることが分かりました。話を聞いたあと、私のように直接支えることができない立場で何ができるかを考えたとき、まずは知ることだと思いました。世の中にはどんな人たちがいて、どのような支援が必要なのか、知識を得て存在を「知ること」が大切だと感じました。そしていつか菅原さんのような誰かを助けることができる人になりたいと思いました。

**千葉山 貴公(94期)**

演歌歌手



講話では千葉山さんの演歌歌手になるまでの道のり、仕事内容など細かくお話いただいた。千葉山さんは学生時代、ふと新聞に載っていた「演歌歌手の歌に対する想い」を読んで感銘を受け、それをきっかけに演歌の世界に没頭したという。放課後にはよくCDショップに寄って演歌を聞き、日常生活の中で演歌に触れていたそう。大学生になり就職を考えるも、企業などに就職することあまり興味がなく、いつしか演歌歌手を目指すようになっていたようだ。演歌歌手(個人)は自分で営業などを全て行うため、文理の選択は好きな方で、必要な資格なども特に無いということだった。

**感想:** 私が講話を聞いて感じたのは、自分の好きなことを貫き通せる素晴らしさだ。なぜなら、千葉山さんは学生時代に感銘を受けた演歌の道に実際に進み、将来が安定するかわからないリスクを背負いながらも1人の演歌歌手として活動なさっているからだ。もし私が何か没頭できることがあったとしても、将来の安定性も考え、人生を賭けてそれに取り組むことはできないだろう。千葉山さんは自分の好きなことに対して本気で取り組むことの大切さを教えてくださった。これは私たちのこれからの進路に関しても深く関わってくる観点だと思う。

**若山 薫(79期)**

ファイナンシャルプランナー



ファイナンシャルプランナーとは個人の資産運用や生活設計に関する相談に対応し、お金の専門家としてアドバイスを行う仕事です。相談に対応するため、相談者から家族構成、ライフスタイル、収入支出、価値観などを聞き出す必要があります。そのためにはどんな話にも合わせるスキルを持っていることが大切です。若山さんは、プログラミング関係の仕事をしていたことや海外で生活していたことなど、全ての経験が今の仕事の役に立っているとおっしゃっていました。必要な資格はありませんが、ファイナンシャルプランナーの資格を持っていれば実務に役立ちます。仕事のやりがいは相談者から感謝の気持ちを伝えてもらえることだそうです。

**感想:** 私は若山さんの話を聞いて、「今までの全ての経験が仕事の役に立った。」という言葉が印象に残りました。部活などで努力してもなかなか結果が出ない時、私は今まで頑張った時間や頑張っている今の時間も無駄ではないのかと時々思っていました。でもこの言葉を聞いて安心しました。今は無駄だと思っても大人になった時には仕事の役に立つ経験になっていると思うと、これからも部活などで思うように結果が出なくても諦めずに努力を続けていこうと思いました。



## ●新潟支部

小出(平川)和子(65期)

コロナ感染症の影響で支部総会をお休みしており、皆様にお会いできずにいた間に、市川務さん(50期)が体調を崩してお亡くなりになってしまいました。

市川さんは、事務局として会場設営や開催案内の送付などを行って下さっていたので、今後の活動は不可能だろうと解散も考えました。しかし、市川さんがご苦労されてせっかく立ち上げた支部を簡単に潰すわけにはいかないと思いなおし、もう少し頑張ってみようかと考えております。

そこで、今年の支部総会を秋に実施する予定でおりますので、なるべく多くのご参加をお願いします。

## ●埼玉支部

加藤(高橋)真理(67期)

2026年6月21日(日)、横浜市神奈川区の神之木地区センターの和室で埼玉支部会を開催しました。今年度は例年と趣を変えて、落語鑑賞会を行いました。昨年母校の創立125周年記念式典にビデオメッセージをくださった、柳家小せん師匠(河野重信さん(90期))の高座を拝見したいと思い、ご出演を依頼したところ快くお引き受け頂き、埼玉支部主催落語鑑賞会「真澄亭」が実現しました。また、埼玉支部だけでは勿体ないと

多くの方々にお声がけしたところ、神奈川県や東京都からもお出かけいただき、総勢35名の



ご参加をいただきました。お弟子さんの小じかさんの「金明竹」に続き、小せん師匠の「千早ふる」「動物園」「蒟蒻問答」という落語初心者にも分かりやすい演目をご披露いただき、1時間半があつと言う間に過ぎてしまいました。お噺の後は師匠を囲んで会食をしながら懇親会を行いました。参加された方から「日本の古典芸能を堪能できた」「とても楽しかった」などのご感想をいただきました。真澄会事務局始め支部会開催にお力添えをいただいた皆様に感謝致します。来年度は埼玉県内散歩を復活させたいと考えております。支部会の皆様のご参加をお待ちしております。

## ●いづみ支部

岡本康宏(通48期)

創立125周年記念懇親会「ラストイベント」にいづみ支部から9名が参加しました。



会場の横浜ベイシェラトンには広々としていて美味しい料理を食べながら楽しく過ごすことができました。懇親会が終了した後はカラオケボックスに場を移して親睦を深めました。

参加者は、鈴木進(通21期)

山内金七(通24期) 菅原広子(通27期) 宇治延恭(通28期) 杉江ヒサノ(通31期) 梅津美香(通41期) 八田隆太郎(通50期) 河本若江(通51期)と自分でした。

## ●石川支部

竹内(深野)優美子(77期)

5月24日(日)に金沢ニューブランドホテルで真澄会石川支部の食事会をしました。

天気も良く景色も良かったです。

今回、今井(越智)淑子さん(50期)は体調が悪く参加できず、今野淳さん(75期)もアンサンブル金沢で忙しく参加できなかったのですが、新しく金沢工業大学の准教授の藤田(櫻井)萩乃さん(85期)が参加してくれました。

いつものように平沼高校時代の話や近況をお互い話しました。

重田(生山)玲子さん(71期)は、新しく仕事を始めたそうです。

頑張っているなあと思いました。

私は今年度で高校の再任用が終わるので、来年からは埼玉の孫の子守りをしようと思っています。また来年も集まりたいと思います。



## ●西湘支部

安藤和夫(68期)

西湘支部では毎年秋に支部会を開いています。支部会では食事が美味しいお店に出かけたり、会員の音楽家のコンサートを聴きにいたり、会員の展覧会訪問、写経など様々な場面で親睦を深めています。

昨年は母校創立125周年記念式典が開催されたので支部会を開催しませんでした。私は記念式典に参加し、受付で事務局の岸村恵子さん(71期)、遠藤玲子さん(71期)、加藤未知さん(82期)に会うことができました。今回は式典でも運営側のお仕事を担われていました。式典は横浜最大の国際会議場という晴れがましい舞台を余すところなく使った素晴らしいものでした。来年秋には西湘支部会を開催予定です。

※2027年8月には第二回【ももふねちふね展】も横浜高島屋7F 美術画廊にて企画されておりますので、こちらもぜひご関心を寄せていただけたらと思います。



## ●仙台・宮城支部

齋藤(藤)彰世(66期)

「東北大学留学生のボランティア活動について」

この会を知ったのは転勤直後仙台真澄会で真澄会の先輩がこのボランティアグループを紹介してくださいました。本当に「縁」とは不思議なもので、30年近くも楽しく活動させてもらっているのは不思議なくらいです。孫のような若い留学生から日常の悩みを聞いたり、日本の伝統的な文化に触れたり、時には無料のクラシックコンサートを案内したり、仙台での生活が彼らにとって少しでも有意義なものになればこちらも嬉しいです。ラトビアの留学生(当時宗教学科)のご縁から生まれて初めて仏式の結婚式に出席したり、今日本語を熱心に勉強しているチェコの留学生(男性、物理学Dr. コース所属)からは対面以外にもメールで難しい漢字の質問がきてこちらもドギマギします。日本人として疑うことなく毎日使っている日本語は正しい日本語なのか?と。

まあこんな毎日でボランティア活動と週2,3回のプールのアクアビクスに精をだしています。

仙台もしくは東北にお越しがある時はどうぞお声がけをください。

※支部会としての集まりができなかったため、支部長さんのボランティア活動についてのお話を投稿していただきました。



## 横浜ぬらひま団

鎌田健二郎(76期)

昭和58年に吹奏楽部の卒業生によって結成された当団は今年で創立43周年を迎えることができました。現在では誰でも参加できる一般市民吹奏楽団体と形を変え活動をしています。現在は8月30日(日)神奈川県立音楽堂で開催する第38回吹奏楽演奏会「ぬらひま38」にむけて練習を重ねています。「輝け!黄金のポップス大全集 バック・トゥ60's」と題して1960年代に発表され今なお輝き続ける洋の東西のポップスの名曲を取り上げた演奏会の様子は当団HP (<https://nurahima.amebaownd.com>)でご覧いただけます。来年7月19日(月・祝)には今回と同じく神奈川県立音楽堂にて次回演奏会「ぬらひま39」を開催いたします。詳細が決まりましたら当団HPでご案内いたします。



## 剣道部OBOG会

小林康之(79期)



2026年6月14日(日)、横浜天理ビルにて、母校・横浜平沼高校剣道部の78～80期生16名が集い、実に45年ぶりとなる再会を果たしました。

久しぶりに顔を合わせ、最初こそ「誰だっけ?」という場面もありましたが、話し始めればすぐに当時の空気に戻りました。部活での出来事や先生方のこと、その後のそれぞれの人生の歩みなど、話は尽きることなく、楽しいひとときを時間を忘れて語り合いました。

今回の集まりは、剣道部の公式OB会として企画したものではありません。今年3月に西区公会堂で開催された母校創立125周年記念イベントで、久しぶりに再会した先輩がおり、その後、新たに何名かの連絡先も判明しました。そこで、横浜近辺にお住まいの78～80期生に、私(79期・小林康之)が声をかけ、今回の再会が実現した次第です。

偶然の再会がきっかけではありましたが、45年ぶりにこうして集まることができたことを大変うれしく思っています。これを機に、他の世代の剣道部の皆さんとも交流の輪が広がり、世代を超えて集まる機会ができれば幸いです。

剣道部OB・OGの皆さまの中で、ご興味のある方、有志の方はぜひご連絡ください。

## ソフトボール部OG会

小林(山下)陽子(79期)

2026年1月10日(土)、毎年恒例のソフトボール部OG新年会が開催されました。

今回は顧問の先生方は残念ながらご参加いただけませんでしたが、栃木県など



遠方からお越しくださった方や、お子さん連れで参加された方もおり、16名の皆さんにお集まりいただきました。

会の中では、昨年11月に行われた創立125周年記念式典の映像を鑑賞し、実際に参加した方々から当日の感想を伺いながら、思い出話に花が咲きました。その後は恒例の近況報告へ。スポーツクラブで体を動かしている方、ゴルフやマラソンを楽しんでいる方、推しのアーティストのライブに出かけている方など、それぞれの充実した日々の様子が伝わってきました。

また、4歳のお子さんのおもちゃで遊ぶ微笑ましい場面もあり、そのたびに会場には大きな笑い声が広がるなど、終始和やかなひとときとなりました。最後には125周年記念グッズの抽選会を行い、大いに盛り上がりしました。全員で記念撮影を終えた後も、名残惜しそうに会話が続き、なかなかお開きにならないほど楽しい時間となりました。

こうして毎年仲間と集まれることに、あらためて幸せを感じます。今回ご参加いただけなかった皆さまも、ぜひ次回のご参加をお待ちしております。なお、今回の参加費の一部を、ささやかではありますが真澄会へ寄付させていただきました。

また、2027年の新年会では、4年ぶりに母校校庭での親善試合を予定しております。ソフトボール部関係者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2027年1月9日(土) 13:00～ソフトボール、15:00～会食の予定。

## 横浜平沼藤弓会

指田(長部)純子(102期)



本会は弓道部OBOGで組織する弓道団体です。

昨年度は、現役合同射会で万博のミャクミャクの絵を的に貼り点数制で競い、平沼高校125周年記念品を景品として楽しみました。また、現役生がインターハイなどの全国大会へ進出したため遠征費を支援しました。

引続き現役部員の支援のほか、卒業後も気軽に弓道を続けたいというOBOGの受け皿となるべく活動して参ります。



## 横浜平沼山岳会YHAC

青木康男(70期)

高校山岳部OBOGを母体に、最年長は50期生から75期生までの年配ハイカーで構成されています。会の山行としては、2025年の夏合宿で谷川天神平、丹沢・芋煮会。26年三浦半島・梅林ハイク、高輪・歴史探訪、小網代の森ハイク等を実施。また、個人山行も盛んで、北海道・日高、沖縄・やんばる地方等チャレンジ。自然の中で、のびのびと身体を動かすことの快適さを感じてみませんか？



真澄会の会員でしたら、ハイキングがいろいろありますので、ご一緒にしませんか？下記の連絡先にメールを送っていただければ会友になり、ハイキング情報を都度送付しますので、是非お声掛け下さい。待っています！

受付:divyama3033@gmail.com 青木まで

## ハンドボール部OBOG会

小林正人(73期)

現役女子ハンドボール部は部員数が少ない中でも奮闘し、14大会連続となる関東大会出場を果たしました。OB・OG会では支援金を贈呈するとともに熊谷の大会会場へ応援に駆けつけ、インターハイ予選準決勝でも保護者とともに大応援団を結成しました。



また、5月に開催された母校創立125周年記念事業ラストイベントにはハンドボール関係者28名が参加。「縦のつながり」コーナーでは島田先生とOB・OGが登壇し、「受け継がれる強さの秘密」を語りました。世代を超えた絆を大切にしながら、これからも現役部員を応援していきます。



## サッカー部OB会

洞野卓宏(90期)

125周年記念事業として開催された昨年の平翠戦をきっかけに、サッカー部OBにも長らく途絶えていた世代を超えたつながりが生まれました。

今年はシニア層を加えたOB戦が企画され、81期から122期まで約40名のOBと現役生による交流戦が予定されていましたが、突然の解散総選挙ならぬ大雪の影響で止むなく延期に。改めて2月22日(日)に開催されたOB戦当日には約20名が母校グラウンドに集い、現役生とともに白熱した試合を繰り広げました。同じグラウンドで汗を流した仲間たちが、世代を超えて再び集えることは母校ならではの財産です。今後もOB戦の定期開催に加え、多くの声が寄せられている平翠戦復活に向けた活動を続けていきたいと思います。



## バスケットボール部OBOG会

豊田哲志(75期)

2026年5月17日(日)、約280名が集った母校創立125周年記念懇親会「ラストイベント」にて、バスケットボール部女子の大先輩(前田(三木)福子さん(62期))より「平沼バスケットと共に20年」という桂正之先生の手記がOB会に託された。これは昭和23年から47年頃まで女子バスケット部を指導した桂先生が、当時のチームや選手の活躍を記した貴重な記録だそう。その間ほぼ毎年インターハイに出場していたとのことであり、母校バスケット部の歴史を若いOB・OGや現役選手に知ってほしいという思いが込められている。真澄会室で閲覧ができます。また、後任の故・増田庸光氏を偲ぶ冊子「もげ」も平沼高校バスケット部の歴史資料として価値が高いものである。こちらにも前出の大先輩から託されて、真澄会室で閲覧できるし、先着20名には差し上げることができるので希望の方は真澄会事務局へ連絡をしてください。



## 志賀社会保険労務士・行政書士事務所

志賀一史(71期)

お気軽にご相談ください！

〒220-0023  
横浜市西区平沼2-2-1第2三光ビル603  
TEL: 045-620-0268  
FAX: 045-620-0269  
E-Mail: shiga.kazufumi@gmail.com

労働保険  
社会保険  
就業規則  
残業・解雇  
建築業許可  
会社設立  
遺言・相続  
成年後見

## フクナガ動物病院 FUKUNAGA ANIMAL HOSPITAL

☎0748-33-5333



動物たちの「心」に耳をすませ  
丁寧な治療を心がけています

福永(岸村)めぐみ(103期)



## 青春時代!

### 野球部OBOG会

三宅広美(82期)

野球部の悲願だった創部からの歴史をまとめた記念誌が今年3月、ついに完成。5月30日(土)に崎陽軒で開催した「創部75周年記念誌発行懇親会」には、部の1期生でOB・OG会初代会長の井手忠雄さん(50期)らOB・OG、私たちの活動を支えてくださった顧問の先生方をはじめ100人以上が集まりました。フリーアナウンサーの羽鳥慎一さん(86期)は急な出張で欠席も、学生監督を務めた臼井乃さん(77期)、朝日放送アナウンサーの柴田博さん(84期)、SBC信越放送アナウンサーの蒲生杏奈さん(116期)の司会進行で各代が思い出話を披露し、会場は大盛り上がり。これを機に縦、横の絆をさらに深め、現役生を支援していきたいと思っています。



### バレーボール部OBOG会平沼クラブ 平井正之(74期)

我々バレーボール部OB OG会は「平沼クラブ」という名称です。以前は平沼クラブというチーム名で、各地区のスポーツ大会、国体予選、全国大会があるクラブカップ予選などにも出場していました(クラブカップには県代表で二回全国大会に出場しています)。



現在はOBOG会総会の後に、レクリエーションでソフトバレーボールをしたり、懇親会(呑み会)で旧交をあたためています。その中で毎年、現役生への支援の為に、支援金を贈呈しています。OBOG会の事業予算の他に先輩方の寄付金をプラスしてもらい、毎回現役生に喜ばれています。顧問の先生からは、現役生が出場した大会の報告があり、理事会や総会の時に紹介しています。これもOBOGの皆様のおかげです。今年も秋に、支援金贈呈に母校体育館に伺う予定です。

### 陸上部OBOG会

稲田(萩原)悦子(80期)

2024年12月、私たち1983年卒業生が還暦を迎えることを記念して同窓会が開催されました。その席で陸上部の仲間たちと再会し、懐かしい時間を過ごしました。高校時代、私は短距離選手として競技に打ち込み、インターハイに出場する機会にも恵まれました。厳しい練習は決して楽ではありませんでしたが、同じ目標に向かって汗を流した仲間たちとの時間は、今振り返るとかけがえのない青春の思い出です。陸上部はもともと部員数が少なかったこともあり、再会後は自然と連絡を取り合うようになりました。同窓会をきっかけに、その後も何度か集まっています。会えばすぐに当時の空気に戻り、思い出話に花が咲きます。笑い合える仲間がいることは、本当に幸せなことだと感じます。若い頃はタイムや順位を追いかけいていましたが、還暦を迎えた今、私たちに残った一番の宝物は仲間とのご縁かもしれません。これからもこのつながりを大切にしていきたいと思っています。



### 吹奏楽部後援会若奏会 佐久間(津久井)まゆ(103期)



吹奏楽部後援会若奏会(わかなかい)は、2007年に発足した吹奏楽部の卒業生による後援会です。昨年10月の交流会には64期から122期が参加し、現役生と『校歌』『宝島』の合奏をしました。今年は10月17日(土)に実施予定です! また、連絡先のわかる卒部生570名に定演案内ハガキを送付し、支援金7万円を吹奏楽部に送りました。吹奏楽部は昨年、A編成で創部初となる東関東大会へ出場しました。現役生が充実した活動が続けられるよう、卒業後も部とのつながりを持てるよう活動しています!吹奏楽部と一緒に応援しませんか?ご興味のある方はwakanakai\_hwo@yahoo.co.jpまでご連絡ください。

### 缶バッチ

創立125周年記念ハーバー  
パッケージデザイン

真澄会室にて販売中!

¥100



44mm



## アーティスト イサム・ノグチを育てた女性 レオニー・ギルモア

神奈川県高等女学校で英語の授業を行う一人のアメリカ人女性。教室に、女学生に交じって授業を聴く幼い男の子の姿があった。1950(昭和25)年発行の『花橘』復刊第一号に、11回卒業生森規矩子が当時の思い出を寄せている。少年は後にイサム・ノグチとして彫刻、造園、インテリアデザイン、舞台芸術と、幅広い分野で世界的に名を馳せることとなる。教壇に立つのは彼の母、レオニー・ギルモア。周年記念誌の職員名簿には「野口レオニー」。嘱託講師としての在職期間は1910年3月31日から1919年12月22日までとある。

### レオニーと野口米次郎

アメリカの名門私立女子大ブリンマー大学で歴史や哲学を学んだレオニーは新聞紙上に掲載された求人に応じて、日本人の詩人野口米次郎が英語で創作した詩を添削するという職を得て、その創作活動を支える。二人の関係はやがて恋愛に発展し、1904年11月17日、レオニーはロサンゼルスで米次郎との間に男の子を出産する。正式な結婚を経ない二人の間に生まれた子どもであった。既に米次郎は身重のレオニーを残して日本に帰国していたが、手紙でレオニーと息子の来日を促している。息子をカリフォルニアでのびのびと育てたいと考えるレオニーは、来日には消極的だった。

レオニー・ギルモア  
(講談社文庫『イサム・ノグチ 宿命の越境者』  
掲載 NY イサム・ノグチ財団所蔵)



「レオニーが務めていた女学校の同僚たちと」  
(同 NY イサム・ノグチ財団所蔵) \*学校名は未確認

### 来日

日露戦争開戦当時は良好だった日米関係がポーツマス条約締結後には悪化し、特にカリフォルニア州で「排日運動」が激化すると、日本人の父を持つ息子をアメリカで育てることに不安を感じた彼女は来日を決意した。1907年3月9日、レオニー母子はサンフランシスコを出航し横浜を目指す。それまで「ヨー」の愛称で呼ばれていた男児は、横浜で出迎えた父と対面したのちイサム(勇)と名付けられた。2歳4か月だった。

### 日本での生活

東京の小石川に新居を構えるものの、当時、母校である慶応義塾大学の講師をしていた米次郎には、既に深い関係の女性がいた。更に「詩作」に専念したい彼は北鎌倉円覚寺に籠り家に居つかないなど、レオニー母子の生活は不安定なものだった。夏休みには講師である米次郎が無給になる。彼女は生活を支えるために仕事に就く必要があり、英語の個人教授として何人もの生徒を抱えながらイサムの面倒を見る多忙な生活を送ることになる。生徒の中には小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の長男一雄などもいた。1910年、米次郎が正式な妻とした武田まつ子との間に生まれた春雄を長男として入籍すると、その春、レオニーは神奈川県立高等女学校の英語教師になった。この時米次郎とは既に別居し、小日向台町に転居していた「レオニー先生」が教室に幼い息子を伴って授業を行っていたのはこうした事情である。





『伊サム・ノグチ 宿命の越境者』(上)  
ドウス昌代著 講談社文庫



『伊サム・ノグチ 宿命の越境者』(下)  
ドウス昌代著 講談社文庫

## レオニーが育てたアーティスト宿命の越境者 イサム・ノグチ

イサムを芸術家になりたいというレオニーの思いはその後の彼の人生に大きな影響を与えた。東京から神奈川県茅ヶ崎に引っ越したのち、イサムは地元の小学校からセント・ジョセフ・インターナショナルカレッジに転入したが、新居の設計を手伝うなど、早くも芸術的素養を発揮している。また、一時休学をして指物師に弟子入りをし、木工職人としての基礎を身に付けたことは、彫刻家としてのその後の彼にとって大きな力となった。その間、レオニーがイサムに個人授業を行っている。1918年、レオニーはイサムを単身渡米させて、自然の中での教育を謳った全寮制の実験校インターラーケン校に入学させる。(同校は社会情勢によりイサムの入学後まもなく閉校となった。)

## その後のイサムとレオニー

その後通学したラポート高校を首席で卒業し、コロンビア大学医学部準備過程に入学したイサムに医学への道を思いとどませたのは、イサムに遅れて渡米したレオニーだった。イサムは、コロンビア大学医学部に籍を置きながらレオナルド・ダ・ヴィンチ美術学校の夜間クラスに通い、芸術家としての道を歩むことになる。日本国籍を持たぬ日系人イサムがアメリカで過ごした太平洋戦争中のこと、日本を含め世界各地でのその後の目覚ましい活動と波乱に満ちた人生についてはイサム自身による自伝のほか、ドウス昌代の著書「宿命の越境者・イサム・ノグチ」に詳しい。レオニーは世界を舞台に活動するイサムを見守りながら、自身はささやかな輸出入業務のビジネスを営み、ニューヨークで60歳の生涯を閉じた。

明治43年11月30日刊行の『花たちばな』に掲載されたレオニーのエッセイ

休み時間に学校の庭を散歩しながら、女の子たちの声の合唱に耳を傾けるのが好きです。それはまるで、未知の言葉を話す鳥たちのさえずりのようです。以前、ある男性が眠りから覚めたら、突然鳥の言葉を理解できるようになったという話を読んだことがあります。(きっと、眠っている間に妖精が彼にそんな能力を授けたのでしょう。)さて、もし私が突然目覚めて日本語を理解できるようになったとしたら、周りで聞こえる女の子たちのさえずりは、今より音楽的に聞こえるでしょうか？ きっとそうは思わないでしょう。

私たちは、言葉の意味が分からなくても、鳥の歌声を聞くのが好きです。だから私は、休み時間に学校の庭に響き渡る、さえずり、突然の叫び声、甘い笑い声を、聞き慣れない言葉の意味を気にすることなく、聞くのが好きなのです。(後略)

原文は英文

## 歴史資料 展示室より

### ○「校史教育」のお手伝いをしました

毎年1年生対象に行っている「校史教育」。歴史資料委員会では今年も6月19日(金)22日(月)24日(水)26日(金)の四日間にわたり、歴史資料委員会のスタッフ(地葉幸泰(55期)・岩本伸一(67期)・沢内民雄(67期)・正木裕二(73期)・松本伊戸美(73期))が「歴史資料展示室」見学のお手伝いをしました。

### ○展示室廊下壁面の「年表」を刷新しました

開室以来、歴史資料展示室の廊下壁面に掲げられている「年表」を、今回刷新し、「平沼祭」では多くの来校者にお披露目をしました。ここ何年かの歴史資料委員会の懸案でしたが、従来の年表を精査し、スリム化することで100周年以降の25年分を含めても従来の半分ほどのスペースに収まり、その分新たな展示スペースを確保することができました。



# 十年ひとふし

## 同期会・クラス会開催報告

### 第64期

田中 秀一

2025年11月25日(火)、崎陽軒にて64期の喜寿同期会が開催されました。当日は、多くの皆さまがご参加くださり、計70名が一堂に会しました。

久しぶりに再会された方々も多く、近況を語り合いながら、終始和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごされました。

ご参加の皆さまにとって、あらためて同期の絆を感じるひとときとなりました。



### 第67期

田中 信義

67期の同期会を、2026年6月25日(木) 12時30分から中華街の菜香新館で開催しました。

過去50回以上の開催で初めてのような気がします、雨降りでした。

54名の参加があり、いつものように楽しく賑やかな会でした。今年は卒業後56年ぶりに参加してくれた人もいました。継続していたお陰でしょうか。

さて、次回はいつ開催しましょうか。



### 第121期

中田 優汰

2026年1月10日(土)に、ホテル・ザ・ノットヨコハマにて「横浜平沼高校121期生成人式祝賀会」を開催いたしました。

このような場を取り仕切らせていただくのは初めてでしたが、沢山の方々に助けていただき、無事に開催まで漕ぎ着けることができました。当日は、久しぶりに再会した学友や恩師の方々と、あの頃のような懐かしい雰囲気、楽しい時間を過ごすことができました。私としても、参加して下さった皆さんが笑顔で言葉を交わしている姿を見ることができ、非常に満足しています。またいつか、121期生が一堂に集えることを楽しみにしています。

[参加者人数] 生徒:215名、教員:7名



山本明德先生  
2025年6月12日

英語教諭 昭和40年～54年 在籍  
担任:66期37組、71期26組、73期32組、76期31組他  
部活顧問:サッカー部、生徒会

訃報

鈴木宏司さん(59期)  
2026年5月22日

第七代真澄会長(平成22年～28年)、  
同顧問(平成28年～令和6年)



花橘23号より転載



### 鈴木宏司君を悼む

地代所達也(59期)

突然の電話だった。「真澄会手伝ってくれないかな、校歌祭の幹事校になっちゃったんだよ」との依頼である。私に務まるか?思慮の間もなく「第7回青春かながわ校歌祭(2012.11.25於:KAAT)」に向けての準備が始まった。桜蔭会(希望ヶ丘高等学校同窓会館)への坂を何度登ったことか、過密なスケジュール表を眺めながら怒涛の2012年を懐かしく思い出している。音楽に疎い我々が重責を果たし得たのは、真澄会の強力な同伴者と内外の助言者があったからである。

同窓同業とはいえ、道の交わることが少なかった彼と初めて濃密に行を共にした1年余。要所での確かな判断を下す様を頼もしく思い、少年期の病を克服し一家をなすまでになった彼の生き方から学ぶことも多かった、こんな機会がなければ鈴木宏司を深く識ることも無かつたろう。要請を断らなくてよかった「貴重な経験をありがとう!」感謝の言葉をおくり“友”の冥福を祈る。

TEA & COFFEE

あひるこ

〒231-0063 横浜市中区花咲町3-96(音楽通り)  
☎(045)242-8339  
しとり  
倭文敏夫(64期)

細水写真館

細水 亨(63期)

〒220-0023 横浜市西区平沼1-33-18  
TEL (045)321-4202  
FAX (045)321-4255



第58期

館 憲紀

第78期

小林(山田)久美子

第79期

吉岡小鼓音

11月7日の創立125周年記念式典に級友3名で参加させていただきました。125周年を迎える歴史のある学校に通学できたこと、本当に素晴らしいことだったと改めて思いました。吹奏楽の演奏やダンスパフォーマンスもいきいきとして、在校生はのびのびと学校生活を送っているように感じました。柴田さん、羽鳥さんの司会も素晴らしかったです。今、素晴らしい母校に誇りを持てる幸せにしみじみと浸っております。お天気にも恵まれ、立派なパシフィコ横浜国立大ホールに多数の在校生、卒業生、学校関係者が参集し、会場には58期同期生が10数名着席し、旧交を温めることもできました。関係者の皆様のご配慮に感謝申し上げます。有難うございました。最後に次の150周年に向けて母校の益々の発展を祈念いたします。

一年を通して参加させていただいた催しのパンフレットを集めてみました。美しい表紙を見るたびに、それぞれの会で味わった感動がよみがえります。才能あふれる卒業生の皆さまに触れ、母校で学べたことを誇りに感じるとともに、これほど充実した企画を実現された皆さまに心より感謝しております。同期の応援団のリードによる校歌歌唱や、専門家による校歌の解説など、貴重な企画の数々は忘れられない思い出となりました。年明け以降のイベントも楽しみにしております。今後ともよろしく願いいたします。



私は49期、91歳の母と参加させていただきました。同窓の実感と、当時の思い出を企画の中で楽しく振り返る事ができたのも、気付かぬ心遣いが随所に散りばめられていたからだと、1週間以上経っても鮮明に暖かく思い出されます。本当に、ご尽力いただいた真澄会の皆さまにくれぐれも感謝をお伝えください。お手伝いされた皆様も本当にありがとうございました。そして3月15日へとバトンが繋がれ、5月のラストにまた繋がれました。本当に、2年前のプレイベント開始から夏のコンサートも真澄会の皆様に暖かく見守っていただきました。式典で「なんて素晴らしい学校なんだ!」と感動させていただき、この力を結集して向かっていきたいと、今また新たに気持ちがピットしたところです。

寄付者ご芳名

|                         |                        |                        |
|-------------------------|------------------------|------------------------|
| 100,000円 池松 忠彦 [62]     | 6,000円 佐藤 (芹沢) 真理 [69] | 5,000円 久保 知也 [84]      |
| // 持田 章 [74]            | // 中谷 (田辺) 美砂 [76]     | // 山田 浩嗣 [86]          |
| 28,000円 徳田 (藤田) つや [57] | // 福田 由紀子 [通24]        | // 浦野 敦雄 [95]          |
| 24,575円 真澄会湘南藤沢支部       | 5,000円 渡部 善裕 [62]      | // 池田 泰洋 [95]          |
| 20,000円 我妻 晃夫 [63]      | // 海宝 (菊重) みどり [62]    | // 匿名 [99]             |
| 14,000円 竹花 里帆 [87]      | // 井出 (桑原) 希代子 [64]    | // 長島 佐和子 [通30]        |
| 10,000円 中田 (今川) 京子 [69] | // 瀬戸 礼子 [66]          | 3,000円 中村 和子 [通27]     |
| // 谷内 正司 [72]           | // 土屋 (松丸) 優子 [73]     | 2,000円 志賀 (窪田) 晴美 [67] |
| // 白久 操 [通8]            | // 柳父 (中村) かほり [74]    | // 芹澤 秀尚 [通48]         |
| // 宇治 延恭 [通28]          | // 佐藤 (澤木) さゆり [79]    | 1,000円 中山 (村岡) 令子 [62] |
| 8,000円 大村 雄一 [70]       | // 若山 (山口) 薫 [79]      | // 坪井 公載 [63]          |
| // 小林 (山下) 陽子 [79]      | // 鶴岡 美和子 [80]         | // 秋山 典男 [70]          |
| // 井上 京美 [87]           | // 杉山 (恩地) 晶子 [83]     | // 岡本 (藤木) 千尋 [84]     |

奨学金寄付者ご芳名

|                          |
|--------------------------|
| 80,000円 町田 隆 [75]        |
| 10,000円 満口 (佐野) 富美代 [69] |
| // 浜 (大浦) 雅枝 [75]        |
| 5,000円 井出 (桑原) 希代子 [64]  |
| // 青柳 (田中) 淳子 [69]       |
| // 天野 (平野) 恭子 [74]       |
| // 若山 (山口) 薫 [79]        |
| // 山田 浩嗣 [86]            |
| 3,000円 大村 雄一 [70]        |
| 2,000円 小林 (山下) 陽子 [79]   |

注) 2025年8月～2026年6月の間に寄付と一括納入の方々を掲載しています。



株式会社 アルテジェネシス

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 1-4-1  
アルテマリンウェーブビル 5階 TEL.045-663-6123

代表取締役会長 吉原 直樹 (71期)



WEB 予約・クーポン等はホームページよりご覧ください

関東・関西へ店舗ぞくぞくと展開中

株式会社アルテジェネシスは美容サロン事業を展開するグループ各社を統括し、店舗開発・賃貸、教育、流通、プロモーション、M&A等の経営指導面で各社をサポートしております。国内では関東圏を中心に展開する Ash 128 店舗、チョキベタ 80 店舗、関西圏に展開する NYNY41 店舗をはじめとして 377 店舗。国外ではシンガポールへ 1 店舗展開しております。

(2026 年 5 月末現在)

スマホ決済に対応しました  
郵便局やコンビニに  
行かなくても、  
自宅から会費を  
納めることができます!

①アプリ起動



②バーコード読み取り



③お支払い



④お支払い完了!



「サラト」と表示されます

ご利用いただける  
スマートフォン決済アプリ





母校創立125周年記念事業 寄付者ご芳名

|            |         |         |          |         |      |          |          |      |          |         |      |            |          |     |       |       |
|------------|---------|---------|----------|---------|------|----------|----------|------|----------|---------|------|------------|----------|-----|-------|-------|
| 寄付金55,000円 | 木下 (木下) | 和子      | [54]     | 加田      | 昌章   | [61]     | 石川 (河野)  | あや子  | [66]     | 菱口 (山本) | 由美子  | [73]       | 平賀       | 薫   | [82]  |       |
| 杉山 (東浦)    | 鳥越 (塚本) | 和子      | [54]     | 伊藤 (藤枝) | 史子   | [61]     | 赤沼 (鈴木)  | 淑子   | [66]     | 正木      | 裕二   | [73]       | 櫻井       | 直彦  | [82]  |       |
| 寄付金10,000円 | 河村      | 伸子      | [54]     | 水原 (神沢) | 敬子   | [61]     | 長谷川 (佐藤) | 三哉子  | [67]     | 生島      | 智江   | [73]       | 土橋 (渡辺)  | 陽子  | [82]  |       |
| 渡辺         | 文雄      | [69]    | 湯澤 (西島)  | 民子      | [54] | 古江       | 恭雄       | [61] | 伊藤       | 孝       | [67] | 瀧澤         | 万野       | 政宏  | [82]  |       |
| 西平         | 隆一      | [83]    | 滝波 (藤本)  | 多美子     | [54] | 木村 (窪内)  | 洋子       | [61] | 村上 (阿部)  | 智子      | [67] | 小林         | 神山 (真砂)  | 貴子  | [82]  |       |
| 寄付金5,000円  | 前田      | 義之      | [55]     | 栗山      | 光太郎  | [61]     | 荒井 (萩谷)  | 真佐代  | [67]     | 島中      | 孝行   | [73]       | 木本 (藤田)  | 郁子  | [82]  |       |
| 松村         | 榮子      | [歴代校長]  | 和田 (多賀)  | 紀子      | [55] | 吉田 (森)   | 光枝       | [61] | 嶋津       | 俊信      | [67] | 永森 (玉木)    | 高橋       | 康弘  | [82]  |       |
| 並河         | 絹江      | [歴代校長]  | 山口 (山口)  | 堯子      | [55] | 根本 (油上)  | 陽子       | [61] | 後藤 (蒔田)  | 貞子      | [67] | 鈴木 (山山)    | 山岡       | 正人  | [82]  |       |
| 山口 (高木)    | 久美子     | [歴代校長]  | 貞包 (田口)  | 紀子      | [55] | 串田 (星野)  | 陽子       | [61] | 佐藤 (山下)  | 美代子     | [67] | 三上 (鈴木)    | 根本 (八尾)  | 真理子 | [82]  |       |
| 田島 (西)     | 香澄      | [歴代校長]  | 渡部       | 衛       | [55] | 椎野 (小林)  | 光子       | [61] | 赤見       | 一雄      | [67] | 坂本         | 高崎 (清水)  | 任子  | [83]  |       |
| 松本 (奥坂)    | 伊戸美     | [歴代校長]  | 大谷       | 実       | [55] | 池松       | 忠彦       | [62] | 宮野 (佐藤)  | 恵子      | [67] | 仲尾 (古川)    | 明石 (長谷部) | 直美  | [83]  |       |
| 橋本         | テル子     | [歴代校長]  | 中川       | 諒二郎     | [55] | 内田       | 繁孝       | [62] | 鬼原 (杉本)  | 優子      | [67] | 中田 (吉田)    | 奥野       | 麻子  | [83]  |       |
| 宇佐美 (伊佐)   | 喜代子     | [41]    | 中島 (青木)  | 富美子     | [55] | 奥村 (野地)  | 喜代美      | [62] | 西田 (松原)  | 恵子      | [67] | 佐藤 (加賀)    | 鈴木 (加藤)  | 万理  | [83]  |       |
| 本間 (石塚)    | リオ      | [42]    | 矢萩 (野口)  | 光枝      | [55] | 吉川 (橋本)  | 和子       | [62] | 沢内 (木村)  | 民雄      | [67] | 金田 (野呂)    | 和田 (長根)  | 准子  | [84]  |       |
| 池田 (中島)    | 幸子      | [42-4年] | 藤川 (岡田)  | 幸枝      | [55] | 菊川 (椎名)  | 智保子      | [62] | 山本 (石川)  | 真理子     | [68] | 天野 (平野)    | 曾根田 (渡島) | 香織  | [84]  |       |
| 窪田 (築)     | 美智子     | [42-4年] | 江谷 (橋本)  | 昭子      | [55] | 小塚       | 郁夫       | [62] | 榎葉 (畠田)  | 洋子      | [68] | 今野         | 柴田       | 博   | [84]  |       |
| 石井 (渡辺)    | 和子      | [42-4年] | 山本 (林)   | 晴子      | [55] | 岩下       | 一正       | [62] | 安喰 (川辺)  | 千代子     | [68] | 岸部 (本間)    | 福岡 (高橋)  | 雅子  | [84]  |       |
| 西田 (渡辺)    | 瑞枝      | [42-4年] | 岩永 (杉浦)  | 睦子      | [55] | 小山 (斎藤)  | 芳美       | [62] | 吉田 (奥村)  | 倫代      | [68] | 鋤持 (斉藤)    | 杉本       | 奈津子 | [84]  |       |
| 上原 (中山)    | とみ      | [44]    | 高橋 (室田)  | 房江      | [55] | 島田       | 英男       | [62] | 成瀬       | 季子      | [68] | 中田 (伊藤)    | 木ノ下 (原口) | 優子  | [84]  |       |
| 土屋 (大林)    | 美和子     | [44]    | 土信田 (山田) | 千鶴子     | [55] | 中山 (村岡)  | 令子       | [62] | 石井 (安藤)  | こずえ     | [68] | 木幡 (櫻庭)    | 岡本 (藤木)  | 千尋  | [84]  |       |
| 篠崎 (松信)    | 孝子      | [45]    | 関口 (大森)  | 禎子      | [55] | 中島 (佐藤)  | 多美子      | [62] | 服部 (木村)  | 澄子      | [68] | 滝澤         | 松井 (宮島)  | 智子  | [84]  |       |
| 伊東 (小宮)    | 陽子      | [45]    | 菊地 (徳江)  | 淑子      | [55] | 岡田 (中山)  | 迪子       | [62] | 手島 (堀中)  | 優子      | [68] | 宮下         | 長島 (佐野)  | 正明  | [85]  |       |
| 岡村 (大村)    | 眞弓      | [46]    | 阿久津 (増淵) | 朝子      | [55] | 藤山 (日吉)  | 美智       | [62] | 戸井 (遠藤)  | 浩       | [68] | 阿部 (武藤)    | 井上       | 文   | [85]  |       |
| 長井 (児玉)    | 良子      | [47]    | 齋藤       | 安弘      | [56] | 工藤 (鈴木)  | 弘子       | [62] | 橋本 (東)   | 由紀江     | [69] | 鞘田 (吉池)    | 伊海 (田中)  | 芳江  | [85]  |       |
| 林 (林)      | 玲子      | [47]    | 都築 (長谷川) | 朋子      | [56] | 木佐美 (杉浦) | 綾子       | [62] | 柳沼       | 正人      | [69] | 持田         | 伊藤       | 純久  | [86]  |       |
| 山崎         | 信子      | [47]    | 樋口 (樋口)  | 美智子     | [56] | 早川 (城戸崎) | 康子       | [62] | 久保田      | 廣       | [69] | 平田 (吉村)    | 清水       | 淳二  | [87]  |       |
| 丹羽 (荒井)    | 敏子      | [48]    | 斉藤       | 建彦      | [56] | 浅沢 (佐藤)  | 八重子      | [62] | 山田 (木下)  | 小夜子     | [69] | 木村         | 亀崎 (星野)  | 理恵  | [87]  |       |
| 岸 (岸)      | 敏子      | [48]    | 匿名       |         | [56] | 桂        | 茂        | [62] | 末永 (若脇)  | 隆子      | [69] | 岡          | 佐々木      | 悦子  | [87]  |       |
| 松山 (石川)    | 英子      | [48]    | 矢島 (今井)  | 輝枝子     | [56] | 柳崎       | 一之       | [62] | 水野 (大熊)  | 純子      | [69] | 佐藤         | 松葉 (松尾)  | 恵佳子 | [88]  |       |
| 丸山 (秋葉)    | るみ子     | [48]    | 荻野 (小沢)  | 喜久江     | [56] | 工藤       | 加代子      | [62] | 佐藤 (松本)  | 久美子     | [69] | 猪狩 (大和田)   | 二見       | 美和子 | [88]  |       |
| 森 (荒井)     | 玲子      | [48]    | 平林 (鈴木)  | 静子      | [56] | 坂本       | 政子       | [63] | 石田 (塩川)  | 清美      | [69] | 篠津         | 南雲 (栗竹)  | 麻純  | [88]  |       |
| 矢代 (勝畑)    | 俊子      | [48]    | 東原 (平井)  | 陽子      | [56] | 中島 (岩田)  | かほる      | [63] | 佐藤 (芹沢)  | 真理      | [69] | 長谷川        | 佐久間 (曾根) | 美紀  | [88]  |       |
| 川端 (杉山)    | 芳子      | [48]    | 室井       | 英章      | [56] | 金澤 (鈴木)  | 美智代      | [63] | 原 (山下)   | 潤子      | [69] | 深津 (今沢)    | 佐久間      | 伸高  | [88]  |       |
| 関田 (渡辺)    | 政枝      | [48]    | 村上       | 義和      | [56] | 中川       | 容一       | [63] | 石川 (衣川)  | 裕美      | [69] | 足立 (黒田)    | 上野 (西川)  | 美砂  | [88]  |       |
| 田中 (三村)    | 緑子      | [48]    | 吉井       | 克己      | [56] | 木村 (田中)  | 通子       | [63] | 浅井       | 眞人      | [69] | 峰          | 石田       | 麻枝  | [89]  |       |
| 三田 (遠藤)    | 操       | [49]    | 関口 (町田)  | 昌代      | [56] | 石橋 (芹沢)  | 小百合      | [63] | 小林 (綿引)  | みち子     | [69] | 浜 (大浦)     | 藤藤       | 学   | [89]  |       |
| 田所 (椿山)    | 政子      | [49]    | 結城 (赤星)  | ムツミ     | [56] | 有馬 (名田)  | 翠        | [63] | 大竹       | 勝       | [69] | 山家 (亀井川)   | 清水 (菊池)  | 理恵  | [90]  |       |
| 栗田         | 光子      | [49]    | 満谷 (清水)  | 安       | [56] | 戸栗 (菅野)  | 多恵子      | [63] | 中村       | 博       | [69] | 前田         | 佐々木      | 靖司  | [90]  |       |
| 西川 (本多)    | 智恵子     | [49]    | 島田 (石井)  | 不二      | [57] | 谷口       | 好宏       | [63] | 樋口       | 易代      | [69] | 西尾         | 於島 (松本)  | 麗   | [90]  |       |
| 青野 (金子)    | 照子      | [49]    | 後藤 (菅野)  | 由利子     | [57] | 倉田       | 二夫三      | [63] | 青柳 (田中)  | 淳子      | [69] | 田口         | 磯部 (深津)  | 規子  | [90]  |       |
| 足立 (木下)    | 晴子      | [49]    | 村尾 (木藤)  | 光子      | [57] | 杉本       | 輝夫       | [63] | 上田 (兵頭)  | 留美子     | [69] | 内田 (山田)    | 軽部       | 剛志  | [90]  |       |
| 井上 (加藤)    | 瑛子      | [49]    | 坪井 (三上)  | 紀子      | [57] | 横澤       | 隆男       | [63] | 香田 (長田)  | 滋子      | [69] | 杉山 (石田)    | 金田       | 尚志  | [90]  |       |
| 山口 (飯塚)    | 敏子      | [50]    | 肥田       | 直美      | [57] | 石橋       | 秀雄       | [63] | 坂本       | 裕哲      | [70] | 杉 (石橋)     | 飯塚       | 義睦  | [91]  |       |
| 亀井         | 禎子      | [50]    | 土志田 (戸田) | 治子      | [57] | 浅田       | 美子       | [64] | 上田 (田辺)  | 牧江      | [70] | 渡邊         | 井上 (佐藤)  | 真理  | [91]  |       |
| 前田 (関野)    | 康子      | [50]    | 坪井 (山口)  | 靖子      | [57] | 倭文       | 敏夫       | [64] | 香田 (深野)  | 明子      | [70] | 辺見 (丸山)    | 加藤 (石崎)  | 八重子 | [92]  |       |
| 猪俣         | 友孝      | [50]    | 若瀬 (本山)  | 晶子      | [57] | 市澤       | 洋        | [64] | 澁谷       | 栄一      | [70] | 櫻井 (村田)    | 堀        | 潤   | [93]  |       |
| 細川         | 英作      | [50]    | 徳田       | 隆弘      | [57] | 田中       | 秀一       | [64] | 山口 (佐藤)  | 久美子     | [70] | 若澤         | 市川 (石田)  | 美由紀 | [93]  |       |
| 秋山         | 豊       | [50]    | 藤沢       | 弘弘      | [57] | 山本       | 知        | [64] | 山崎       | 政義      | [70] | 石井 (川添)    | 品田       | 優子  | [93]  |       |
| 野村         | 脩       | [50]    | 前田 (富永)  | 八重子     | [57] | 金子       | 満男       | [64] | 河野 (市川)  | 美代子     | [70] | KLEIN (梶原) | 渡辺       | 正法  | [94]  |       |
| 野本 (赤星)    | 澄子      | [50]    | 藤前 (渡辺)  | 住子      | [57] | 吉岡 (印出井) | 淑子       | [64] | 吉澤       | 稲垣      | [71] | 伊藤 (竹本)    | 北島       | 康弘  | [94]  |       |
| 池田         | 之後      | [51]    | 伊藤 (小林)  | ト子      | [57] | 大関       | なみ子      | [64] | 須佐 (岡見)  | 澄枝      | [71] | 大谷         | 萬屋       | 志朗  | [94]  |       |
| 青木         | 宏之      | [51]    | 田中 (田中)  | 敬子      | [57] | 桜井 (山中)  | 文子       | [64] | 中村 (大村)  | 晴美      | [71] | 高橋 (小林)    | 山本       | 優一郎 | [95]  |       |
| 岡村 (長谷川)   | 和子      | [51]    | 中台       | 紘       | [58] | 杉山 (安藤)  | 富美子      | [64] | 飯田 (菅)   | 明子      | [71] | 河田 (三廻部)   | 石綿       | 高昌  | [95]  |       |
| 増島         | 由紀子     | [51]    | 桑原       | 敏夫      | [58] | 荒川 (伊東)  | 春江       | [64] | 百崎 (中島)  | 喜美恵     | [71] | 荒川         | 野口       | 力   | [95]  |       |
| 加納         | 忠男      | [51]    | 館        | 憲紀      | [58] | 工藤 (勝山)  | 美紀子      | [64] | 中嶋 (中田)  | たみ子     | [71] | 山本         | 山田       | 尚人  | [96]  |       |
| 小島         | 温       | [51]    | 中村 (須賀)  | 栄子      | [58] | 五十嵐      | 美知子      | [64] | 植薄 (中野)  | 恵子      | [71] | 山崎         | 吉川       | 拓広  | [98]  |       |
| 菊月         | 俊男      | [51]    | 澤野 (鈴木)  | 秀美      | [58] | 横倉 (安田)  | 美知恵      | [64] | 阿部 (長谷部) | 千春      | [71] | 長島         | 田上       | 裕亮  | [99]  |       |
| 望月 (増田)    | 敬子      | [51]    | 松根 (平岡)  | 信子      | [58] | 竹間       | テル子      | [64] | 下田 (松下)  | 弘子      | [71] | 加藤         | 池谷       | 朋樹  | [99]  |       |
| 青木 (飯田)    | 實子      | [51]    | 長島       | 昇       | [58] | 飯森       | 明        | [64] | 平井 (佐藤)  | 洋子      | [71] | 木野         | 原        | 直之  | [99]  |       |
| 石川 (石川)    | 純代      | [51]    | 北原       | 昭治      | [58] | 儘田 (牛山)  | 幸子       | [64] | 島 (内藤)   | まゆみ     | [71] | 石塚         | 鈴木 (田中)  | 寛子  | [100] |       |
| 増田         | 利一      | [52]    | 松田       | 信勝      | [58] | 小島       | 勉        | [64] | 芦田 (西尾)  | 和子      | [71] | 新井 (森)     | 濱野 (関)   | 佳奈子 | [100] |       |
| 藤本         | (今村)    | [52]    | 黒田 (河野)  | 洋子      | [58] | 福井       | 克秀       | [64] | 岸村       | 英恵      | [71] | 田部 (池田)    | 大木       | 瞳   | [101] |       |
| 秋元 (佐藤)    | 茂登子     | [52]    | 工藤 (鈴木)  | 清子      | [58] | 竹内       | 佑三       | [64] | 林        | 修       | [71] | 佐藤 (秋山)    | 森田       | 涼介  | [109] |       |
| 吉川 (前田)    | 圭子      | [52]    | 川野 (河野)  | 美子      | [58] | 寺田       | 研一       | [64] | 広田       | 修       | [71] | 飯塚         | 谷口       | 加奈子 | [112] |       |
| 土屋         | 成令      | [52]    | 鶴江 (岸本)  | 桂子      | [58] | 鈴木       | 博        | [64] | 服部 (斉藤)  | 広子      | [71] | 工藤         | 渡辺       | 晋平  | [114] |       |
| 倉田 (石井)    | 佐代子     | [52]    | 遠藤       | 進       | [58] | 田丸       | 源作       | [64] | 杉山 (中村)  | 羊子      | [71] | 本地 (鈴木)    | 伊藤       | 瑞妃  | [116] |       |
| 荒井 (渡辺)    | 喜代子     | [52]    | 加藤       | 紀       | [58] | 増洲       | 文規       | [64] | 橋本       | 千栄美     | [71] | 石内 (伊藤)    | 藤谷       | 景星  | [117] |       |
| 小林 (御代村)   | 昌江      | [52]    | 天笠       | 盛行      | [58] | 遠藤 (飯塚)  | シゲ子      | [65] | 伊藤       | 尋       | [71] | 富名腰 (川上)   | 柴原       | 響子  | [118] |       |
| 北村         | 義守      | [53]    | 村上 (鈴木)  | 和子      | [59] | 大川 (工藤)  | 春代       | [65] | 平田       | 大二      | [71] | 漆原         | 山田       | 遥   | [122] |       |
| 佐藤         | 正武      | [53]    | 柳 (川上)   | 裕子      | [59] | 加藤       | 廉        | [65] | 守谷       | 修司      | [71] | 小野 (久保)    | 上岡       | 幹雄  | [通9]  |       |
| 秋山         | 章八      | [53]    | 片桐 (梅木)  | 律子      | [59] | 矢島       | 和代       | [65] | 山下       | 良則      | [71] | 菊池 (小山)    | 山田       | 光雄  | [通10] |       |
| 齋藤         | 清勝      | [53]    | 小泉       | 文恵      | [59] | 山形 (大島)  | まや       | [65] | 金子 (田辺)  | 由美子     | [71] | 秋田         | 橋口       | 藤代  | [通12] |       |
| 中村 (榎本)    | 美智子     | [53]    | 是永       | 春子      | [59] | 荒川       | 紀夫       | [65] | 谷内       | 正司      | [72] | 佐藤 (小野寺)   | 橋田       | 志津子 | [通21] |       |
| 眞野         | 正子      | [53]    | 青木 (広沢)  | 松代      | [59] | 鶴岡       | 恭子       | [65] | 吉田       | 直人      | [72] | 佐藤         | 鈴木       | 進   | [通21] |       |
| 石田         | 正勝      | [53]    | 丹羽       | 忠昭      | [59] | 広江 (吉川)  | 和子       | [65] | 熊谷 (稲)   | 美江子     | [72] | 岡村 (阿部)    | 池田       | 継夫  | [通21] |       |
| 横山         | 隆行      | [53]    | 猪野 (阿部)  | 節子      | [59] | 木村       | 俊和       | [65] | 津上 (菊地)  | 江里      | [72] | 村山 (小宮)    | 細川       | 芳枝  | [通22] |       |
| 山本         | 孝男      | [53]    | 八木 (横打)  | 妙子      | [59] | 関野       | 賢二       | [65] | 竹内 (秋原)  | 智美      | [72] | 田原         | 沢田       | 優子  | [通23] |       |
| 中山 (北国)    | 和子      | [53]    | 伊藤       | 勝弘      | [60] | 守安 (大倉)  | 早苗       | [65] | 木内       | みどり     | [72] | 小林 (山下)    | 池永       | 優子  | [通27] |       |
| 見田         | 俊江      | [53]    | 栗山       | 雄治      | [60] | 長田 (清水)  | 真佐子      | [65] | 小松 (神宮)  | 啓子      | [72] | 新井 (須田)    | 大木       | シズコ | [通27] |       |
| 後藤         | 節子      | [53]    | 矢崎 (杉山)  | 和代      | [60] | 三上 (安永)  | 直子       | [65] | 大和田 (田中) | 禎子      | [72] | 瀬舟 (森田)    | 稲葉       | 光子  | [通27] |       |
| 長谷川 (長谷川)  | 美代子     | [53]    | 谷藤       | 昌男      | [60] | 安西       | 昇        | [65] | 山下 (宝力)  | 善子      | [72] | 丸山 (武藤)    | 根本       | 一子  | [通29] |       |
| 小菅         | (田中)    | 美千子     | [53]     | 羽賀 (下家) | 栄子   | [60]     | 衛藤       | 英三   | [65]     | 庄司 (若月) | 恵子   | [72]       | 保坂 (藤牧)  | 森田  | まゆみ   | [通31] |
| 保川 (浅倉)    | 玲子      | [53]    | 石渡 (千葉)  | 杏子      | [60] | 山岡       | 豊治       | [66] | 吉田       | 利之      | [72] | 八木 (児玉)    | 牛島       | 朋子  | [通33] |       |
| 小野野        | 功       | [54]    | 清水 (中村)  | 玲子      | [60] | 森 (堀)    | 陽子       | [66] | 縄 (山本)   | 由美子     | [72] | 久保内 (宮脇)   | 梶原       | 孝子  | [通34] |       |
| 中村         | 後藤      | [54]    | 清水 (有吉)  | 翔子      | [60] | 佐藤       | 徹        | [66] | 岩脇       | 理明      | [72] | 若松         | 秀樹       | 智恵子 | [通34] |       |
| 渡口         | 彦邦      | [54]    | 谷岡 (友寄)  | 睦子      | [60] | 牧 (大橋)   | 宮子       | [66] | 品田 (松浦)  | 央恵      | [72] | 長嶋 (北川)    | 島村       | 徹平  | [通37] |       |
| 寺澤 (山本)    | 匡子      | [54]    | 渡辺       | 良子      | [60] | 中村 (小宮)  | 栄美       | [66] | 佐々木 (柴田) | 啓子      | [73] | 大宅         | 金子       | 敬之  | [通43] |       |
| 中林         | 笑子      | [54]    | 内山       | 順子      | [60] | 小林 (鈴木)  | 洋子       | [66] | 宮本 (本間)  | 久恵      | [73] | 永山         | 岡本       | 康宏  | [通48] |       |
| 竹花 (細川)    | 範子      | [54]    | 濱口       | 敏夫      | [60] | 逢坂 (名本)  | 範子       | [66] | 長島       | 和昭      | [73] | 川島         |          |     |       |       |
| 田中 (石月)    | 英子      | [54]    | 海老澤 (大谷) | 史子      | [60] | 大塚       | 貴久江      | [66] | 宮坂       | 典利      | [73] | 遠藤 (仲尾)    |          |     |       |       |
| 梅沢         | 慎司      | [54]    | 浜口       | 活朗      | [60] | 高木       | 令子       | [66] | 古村 (小笠原) | 眞弓      | [73] | 山崎         |          |     |       |       |
| 鈴木         | 喜八      | [54]    | 丸山       | 英樹      | [60] | 宮川       | 文子       | [66] | 石川       | 孝至      | [73] | 深澤         |          |     |       |       |
| 山本         | 俊一      | [54]    | 北川       | 瑛美      | [61] | 萩原 (荒木)  | 貴久枝      | [66] | 緒賀       | 卓也      | [73] | 伊藤         |          |     |       |       |
| 金子 (藤田)    | 和子      | [54]    | 江口       | 雅夫      | [61] | 竹内 (周東)  | ひろみ      | [66] | 上野       | 博樹      | [73] | 佐久間 (染谷)   |          |     |       |       |
| 古村 (長谷川)   | つたえ     | [54]    | 栗原 (宮内)  | 寛子      | [61] | 葛和 (岩田)  | 幸子       | [66] | 野口 (古谷田) | 芳乃      | [73] | 門澤 (斎藤)    |          |     |       |       |
| 鶴崎 (青木)    | 照子      | [54]    | 木村 (戸倉)  | 比呂子     | [61] | 落合 (水谷)  | 礼子       | [66] | 貝戸 (高野)  | 美鈴      | [73] | 勝越         |          |     |       |       |



一括納入(終身会費)納入者

|                   |                   |                  |                   |                    |              |
|-------------------|-------------------|------------------|-------------------|--------------------|--------------|
| 立澤 (深谷) みち子 [61]  | 松永 修 [71]         | 小野 奈津代 [75]      | 棟方 久美子 [81]       | 菊地 久絵 [102]        | 中倉 寛太 [123]  |
| 佐藤 昭利 [61]        | 熊谷 美江子 [72]       | 栗山 樹子 [75]       | 田中 正仁 [81]        | 高橋 志奈子 [102]       | 中野 晴香 [123]  |
| 坂田 (馬場) 道子 [61]   | 黒川 (金田) 光子 [72]   | 齋藤 素久 [75]       | 鈴木 (酒井) 佳代子 [81]  | 佐久間 (津久井) まゆ [103] | 西村 香凛 [123]  |
| 江口 (梶原) 陽子 [61]   | 河村 (坂本) 愛弓 [72]   | 渡邊 栄一 [75]       | 永川 美佳 [81]        | 國井 佳奈子 [103]       | 村谷 孔陽 [123]  |
| 藤山 (日吉) 美智 [62]   | 竹内 (萩原) 智美 [72]   | 浜 雅枝 [75]        | 奥嶋 博美 [81]        | 谷川 (伊熊) 麻衣 [104]   | 真里奈 [123]    |
| 影山 (中橋) 陽子 [62]   | 中島 (大木) 圭子 [72]   | 嵯峨 (須藤) 久美子 [75] | 福島 (中島) 満美 [81]   | 舟橋 (佐藤) 麻美 [104]   | 夢華 [123]     |
| 力石 (三木) 富士子 [62]  | 丸山 (平沼) みどり [72]  | 飯嶋 (高久) 和江 [75]  | 伊藤 貴 [81]         | 比良 (市川) 明美 [105]   | 幾田 紗紗 [123]  |
| 大木 (星野) 孝枝 [63]   | 丸山 (網藤) 環 [72]    | 斉藤 (野路) 美砂子 [75] | 松崎 (井上) 晴美 [82]   | 常木 のどか [105]       | 遠藤 結子 [123]  |
| 大石橋 (芹沢) 小百合 [63] | 垣内 ますみ [72]       | 飯嶋 (高久) 和江 [75]  | 望月 (山口) ひとみ [82]  | 稲木 一平 [105]        | 小野 日向 [123]  |
| 我妻 晃夫 [63]        | 千葉 純子 [72]        | 佐藤 (山本) 祥子 [75]  | 谷内田 洋子 [82]       | 金子 恵 [107]         | 加藤 加藤 [123]  |
| 横倉 (牧) まりえ [64]   | 池田 (宝力) 善子 [72]   | 細野 (岩間) 智子 [76]  | 土橋 (渡辺) 陽子 [82]   | 金田 響 [107]         | 金子 青空 [123]  |
| 杉山 (安藤) 富美子 [64]  | 庄司 (吉田) 淳子 [72]   | 富田 (石川) キミ子 [76] | 林 (高石) 礼子 [82]    | 森 (相澤) 真梨 [108]    | 黒川 大斗 [123]  |
| 井出 (桑原) 希代子 [64]  | 古高 恵子 [72]        | 西澤 (広沢) 玲子 [76]  | 島崎 健五 [82]        | 小林 梓 [108]         | 後藤 智咲 [123]  |
| 中村 義則 [64]        | 妻島 裕司 [72]        | 菅井 (松本) 紀子 [76]  | 田辺 (小島) 洋子 [82]   | 小松 高 [108]         | 朱音 [123]     |
| 梅沢 美子 [65]        | 六角 一富 [72]        | 柳沼 浩嗣 [76]       | 大庭 (深谷) 亜紀子 [82]  | 杉崎 美沙 [110]        | 宮崎 綾音 [123]  |
| 古澤 (菅野) 由美子 [65]  | 柴田 (八木) 由美子 [72]  | 山本 浩嗣 [76]       | 三宅 広美 [82]        | 仲手川 拓真 [111]       | 大野 ジュア [123] |
| 古澤 幸吉 [65]        | 岡崎 (宮下) まゆみ [72]  | 小形 隆 [76]        | 田辺 晴人 [82]        | 鷹野 さき [111]        | 加藤 豪士 [123]  |
| 小出 (平川) 和子 [65]   | 岡崎 (安川) 晶子 [72]   | 長島 邦子 [76]       | 菅原 (嘉和知) 早苗 [82]  | 谷口 美裕 [112]        | 加藤 かな [123]  |
| 松本 (相磯) 敏子 [66]   | 山本 克己 [72]        | 加藤 誠司 [76]       | 飯倉 (玉虫) 菜穂子 [82]  | 長尾 佑理子 [112]       | 阪本 里海 [123]  |
| 水島 (小山) 恵美子 [66]  | 田島 (西) 香澄 [72]    | 木野 淳子 [76]       | 井田 忠夫 [82]        | 砂長 健太 [112]        | 佐藤 優花 [123]  |
| 牧野 (津村) 秀子 [67]   | 齋藤 智秀 [72]        | 佐藤 和久 [76]       | 井田 貴子 [82]        | 島田 三橋 [114]        | 芝村 新保 [123]  |
| 魚住 明子 [67]        | 入内嶋 (山田) 由美子 [72] | 勝亦 (藤田) まさみ [77] | 鈴木 敦子 [83]        | 菅野 孝紀 [114]        | 関根 藍羅 [123]  |
| 鈴木 (小幡) 仁美 [67]   | 相原 容子 [73]        | 新井 (森) 恵美子 [77]  | 蒲生 奈奈 [116]       | 菅野 尚生 [117]        | 西 拓真 [123]   |
| 高橋 (斎藤) 仁美 [67]   | 加藤 (望月) 康子 [73]   | 細田 (荒井) 幸恵 [77]  | 常盤 尚生 [117]       | 廣瀬 景星 [117]        | 廣瀬 昌 [123]   |
| 西田 (渋谷) 雅子 [67]   | 藁口 (山本) 由美子 [73]  | 杉脇 (田中) 裕美 [77]  | 藤谷 景星 [117]       | 藤谷 景星 [117]        | 廣瀬 絢音 [123]  |
| 千田 (杉本) 恵理子 [67]  | 正木 裕二 [73]        | 高浜 (筑井) 典子 [77]  | 杉浦 砂代 [118]       | 中田 純音 [122]        | 古川 翔琉 [123]  |
| 酒見 (八代) みさ子 [68]  | 坂本 晴子 [73]        | 安本 かつき [77]      | 中田 純音 [122]       | 嵐 美伶 [122]         | 前沢 結芽 [123]  |
| 秋子 (内藤) ゆり [68]   | 板垣 (柳井) 数代 [73]   | 匿名 増見 [77]       | 根田 美伶 [122]       | 秋野 樹子 [122]        | 升水 悠人 [123]  |
| 溝口 (佐野) 富美子 [69]  | 小林 正人 [73]        | 兼重 (関) 則子 [77]   | 根田 樹子 [122]       | 大西 万葉花 [122]       | 水谷 莉子 [123]  |
| 松沢 (中村) 千恵子 [69]  | 藤井 透 [73]         | 兼重 (中村) 崇子 [77]  | 久保 知也 [84]        | 垣崎 伶奈 [122]        | 道脇 優空 [123]  |
| 水原 (西原) 裕子 [69]   | 小林 真理子 [73]       | 鈴木 久美 [77]       | 奈良岡 達久 [84]       | 平床 優太 [122]        | 深山 若葉 [123]  |
| 南上 (水越) 和子 [69]   | 宮崎 (穂泉) 理恵子 [73]  | 関 (日向野) 美子 [77]  | 内海 春人 [84]        | 星野 来実 [122]        | 伊地知 莉音 [123] |
| 濱口 (小池) 友子 [69]   | 大内 卓也 [73]        | 高山 (堀内) 良美 [77]  | 千葉 晶子 [84]        | 結瑞 結瑞 [122]        | 齊藤 美花 [123]  |
| 石田 (堀川) 清美 [69]   | 緒賀 卓正 [73]        | 村上 (鈴木) 貴子 [77]  | 石井 敏治 [84]        | 中西 麻裕美 [122]       | 菅原 悠太 [123]  |
| 佐藤 (芹沢) 真理 [69]   | 中川 正之 [73]        | 鈴木 (木村) 裕子 [77]  | 木ノ下 (原口) 優子 [84]  | 岩瀬 若穂 [122]        | 住本 南瑠 [123]  |
| 島崎 (松下) 由美子 [69]  | 岩野 (千葉) あけみ [73]  | 小林 (坂間) 昌代 [77]  | 長谷川 (木戸) 澄枝 [84]  | 堀 真穂 [122]         | 関 照葉 [123]   |
| 石川 (衣川) 裕美 [69]   | 一柳 泰子 [73]        | 内澤 (露木) 小百合 [77] | 佐川 康子 [84]        | 小島 健太 [122]        | 高橋 菜々子 [123] |
| 相川 (小川) 立子 [69]   | 戸塚 (山田) 浩恵 [73]   | 右田 (齋藤) 敦子 [77]  | 山崎 宏子 [85]        | 雑賀 寛太 [122]        | 中村 すみれ [123] |
| 野村 (河野) 恵美子 [69]  | 小笠原 豊 [73]        | 望月 (鈴木) 裕子 [77]  | 藤田 (櫻井) 萩乃 [85]   | 森 楓 [122]          | 松本 佑花 [123]  |
| 神林 哲哉 [69]        | 坂本 浩之 [73]        | 大沢 (高橋) 由美子 [77] | 日向野 拓 [85]        | 山方 奈緒 [122]        | 吉池 晴 [123]   |
| 中田 (今川) 京子 [69]   | 土屋 (松丸) 優子 [73]   | 石内 (伊藤) 寿美重 [78] | 飯塚 (尾崎) 裕子 [85]   | 有川 菜緒 [122]        | 吉野 友優 [123]  |
| 青柳 (柳島) 好子 [69]   | 上田 秀孝 [73]        | 佐野 (乙坂) 智子 [78]  | 池田 (廣瀬) 百合子 [85]  | 本 大志 [122]         | 石坂 優佐 [123]  |
| 梶澤 (柳島) 好子 [69]   | 内田 安昭 [73]        | 宮原 (菊池) 光佐子 [78] | 森重 功一 [85]        | 大志 優輝 [122]        | 居塚 悠生 [123]  |
| 伊藤 (生魚) 雅美 [70]   | 本村 久美子 [74]       | 村上 (高橋) 美雪 [78]  | 石井 智恵 [85]        | 優輝 蒼 [123]         | 岡村 彩未 [123]  |
| 佐藤 敦子 [70]        | 鍋持 (斉藤) 正子 [74]   | 佐藤 (山田) 則子 [78]  | 折原 (三船) 智恵 [85]   | 蒼 真見 [123]         | 加藤 利彩 [123]  |
| 森元 (速水) 純子 [70]   | 原 (高橋) 左智子 [74]   | 佐藤 幸苗 [78]       | 田中 真弓 [86]        | 真見 夏音 [123]        | 川田 倫久 [123]  |
| 山本 (藤沢) 枝美子 [70]  | 長谷川 (辻) 孝子 [74]   | 三科 (森) 優子 [78]   | 掛川 幸男 [86]        | 夏音 由葉 [123]        | 北澤 爽華 [123]  |
| 山本 (武田) 博子 [70]   | 天野 (平野) 恭子 [74]   | 秋田 徹 [78]        | 山田 浩嗣 [86]        | 志之助 楓人 [123]       | 北村 晃希 [123]  |
| 足田 洋子 [70]        | 濱田 (松本) 恵里 [74]   | 鈴木 早苗 [78]       | 伊藤 純久 [86]        | 齋藤 玲子 [123]        | 佐藤 一步 [123]  |
| 香田 (深野) 明子 [70]   | 松本 (矢作) 千津子 [74]  | 伊東 功一 [78]       | 北村 (海野) 晶子 [86]   | 齋藤 玲子 [123]        | 崎崎 琉輝 [123]  |
| 高野 (太田) 則子 [70]   | 松平 真理子 [74]       | 村山 (小宮) 智美 [78]  | 長谷川 俊介 [87]       | 山田 高木 [123]        | 優太 優太 [123]  |
| 川原 (野上) 牧子 [70]   | 中田 (田島) 育子 [74]   | 目黒 (田嶋川) 優子 [78] | 井上 京美 [87]        | 高木 成田 [123]        | 友梨 龍二 [123]  |
| 佐藤 活朗 [70]        | 高杉 (宮内) 彩 [74]    | 小林 (山田) 久美子 [78] | 岩田 (大塚) 由紀 [87]   | 丸瀬 彩音 [123]        | 初見 森田 [123]  |
| 海老沢 (阿部) 順子 [70]  | 桑子 (柳) 裕子 [74]    | 横山 (高橋) 朋子 [78]  | 遠藤 (星野) 理恵 [87]   | 福元 らふあ [123]       | 青木 実史 [123]  |
| 永守 (生田) 千景 [70]   | 田中 (市川) 裕子 [74]   | 佐野 (高橋) 朋子 [78]  | 奥野 (佐久間) 智 [87]   | 吉町 音和 [123]        | 大久保 爽天 [123] |
| 青木 康男 [70]        | 小宮山 (大西) 玲子 [74]  | 角町 (吉村) 伸子 [78]  | 二見 美和子 [88]       | 丸瀬 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 石川 (安藤) 真二 [70]   | 木幡 (櫻庭) 淳子 [74]   | 用貝 (大友) 恭子 [79]  | 二見 美和子 [88]       | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 多田 (瀬尾) 三千代 [70]  | 持丸 (田村) 安芸子 [74]  | 新井 (須田) まゆみ [79] | 田中 宏子 [88]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 中里 正光 [70]        | 杉本 (仲村) 美南子 [74]  | 川本 (二俣) 利米美 [79] | 杉浦 (大田) 千穂 [88]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 高岡 (田口) 香 [70]    | 渋谷 正孝 [74]        | 清水 (島津) 智子 [79]  | 佐藤 由加里 [88]       | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 坂本 裕哲 [70]        | 鈴木 恵三 [74]        | 野村 (田中) 美奈子 [79] | 内海 (渡邊) 香織 [88]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 山崎 政義 [70]        | 宮下 泰人 [74]        | 有路 (葉袋) 恵子 [79]  | 村上 敦 [88]         | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 兼松 宰 [70]         | 八巻 正明 [74]        | 前川 (鶴澤) 真知子 [79] | 芹澤 (齋藤) のぞみ [88]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 仲田 (鮫島) 寿子 [71]   | 伊藤 (志賀) 加寿子 [74]  | 荻野 (鶴澤) 真知子 [79] | 大澤 (松本) ゆり [88]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 飯田 (丸田) 早苗 [71]   | 柳父 (中村) かほり [74]  | 松本 理孝 [79]       | 山崎 一夫 [88]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 山路 美恵子 [71]       | 岩田 功 [74]         | 若山 (山口) 薫 [79]   | 堀川 (尾崎) 雅子 [88]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 中村 (大村) 晴美 [71]   | 中島 (三浦) 典子 [74]   | 大関 薫 [79]        | 西井 直子 [88]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 増山 (東條) 綾子 [71]   | 阿部 (武藤) 薫子 [74]   | 橋本 栄 [79]        | 矢口 (岩見) 佳寿代 [88]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 植野 (中野) 恵子 [71]   | 池島 (和田) よし江 [74]  | 五十嵐 光喜 [79]      | 三村 英明 [89]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 恵良 (御代田) 須美栄 [71] | 田中 真治 [74]        | 鈴木 (岩瀬) 仁美 [79]  | 吉住 (金丸) 詠理子 [89]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 平井 (佐藤) 洋子 [71]   | 持田 章 [74]         | 川口 (山口) 直子 [79]  | 磯部 (深津) 規子 [90]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 芦田 (西尾) 和子 [71]   | 今野 千賀子 [74]       | 内澤 学 [79]        | 吉野 千絵子 [90]       | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 深野 直子 [71]        | 石井 (稲俣) 太 [74]    | 瀬下 (岡田) ひろ美 [79] | 金刺 (森) 直子 [90]    | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 堀井 (吉原) みゆき [71]  | 江口 篤 [74]         | 山本 (齋藤) 祐里 [80]  | 飯野 容明 [90]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 青山 (石井) 陽子 [71]   | 金澤 慶一 [74]        | 岩崎 (山本) 美穂 [80]  | 添田 真代 [90]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 鳥山 玲子 [71]        | 鈴木 雅也 [74]        | 山岸 (脇田) 浩美 [80]  | 飯野 敦史 [90]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 荒井 緑 [71]         | 保科 健 [74]         | 山根 麻紀 [80]       | 荻野 智和 [90]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 堀越 (白蓋) 孝子 [71]   | 佐藤 (石田) 美智子 [74]  | 横森 (秋山) 妙子 [80]  | 池谷 (中山) 友美 [90]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 鈴木 (堀川) 悦子 [71]   | 石川 秀一 [74]        | 清水 (中林) 聡子 [80]  | 吉田 順子 [90]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 林 隆 [71]          | 若井 未知男 [74]       | 大宅 伸子 [80]       | 多々良 (吉田) 留美子 [91] | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 山田 雅弘 [71]        | 梶木 富美恵 [74]       | 清水 修 [80]        | 関口 (袴田) ヒロミ [92]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 杉山 (中村) 洋子 [71]   | 井上 (金原) 由美子 [74]  | 横田 (武川) 由美子 [80] | 櫻山 (藤本) 真実子 [92]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 橋本 千栄美 [71]       | 岸野 滋 [74]         | 鶴岡 美和子 [80]      | 濱村 将史 [92]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 小島 (福岡) 砂稚子 [71]  | 佐藤 伸明 [74]        | 森 (芳賀) 晶子 [80]   | 近嵐 (山縣) 理恵 [92]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 岡田 (福谷) 尚子 [71]   | 高橋 (柿沢) 秀美 [74]   | 小林 (大谷) 智子 [80]  | 上澤 (三枝) 智子 [93]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 相澤 裕 [71]         | 岡崎 (桜井) 紀子 [74]   | 川島 利彦 [80]       | 杉岡 (内藤) 潤 [93]    | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 佐々木 光男 [71]       | 福永 (江口) 絵都子 [75]  | 渡邊 (関根) 都千代 [80] | 石川 正樹 [93]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 伊藤 卓郎 [71]        | 泉川 (江口) 美恵子 [75]  | 遠藤 (仲尾) 千尋 [80]  | 吉岡 (齋藤) 雅子 [94]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 土屋 五郎 [71]        | 田口 (脇田) 正子 [75]   | 中沢 千尋 [80]       | 岩澤 毅 [94]         | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 原田 裕弘 [71]        | 松山 (野原) 由紀子 [75]  | 津山 (石川) 伸子 [80]  | 北島 康弘 [94]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 和気 (川) 之子 [71]    | 前田 恵美子 [75]       | 橋本 文子 [80]       | 浦野 敦雄 [95]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 嶋田 (河原) まゆみ [71]  | 野崎 俊宏 [75]        | 福田 (中川) 万里 [81]  | 河西 (秋山) 孝子 [96]   | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 小倉 (前田) まさ江 [71]  | 村中 (水品) 和代 [75]   | 匿名 雅司 [81]       | 花田 (林田) 麻里江 [96]  | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 山下 良則 [71]        | 岩城 (小糸) 久美子 [75]  | 大石 (安中) 美奈子 [81] | 寺田 悟史 [97]        | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |
| 渡邊 (植松) 早苗 [71]   | 梅本 隆 [75]         | 村上 (酒井) 聡子 [81]  | 指田 意生 [100]       | 石賀 爽天 [123]        | 石賀 爽天 [123]  |

同窓会は皆さまの会費で運営されています。会費納入にご協力をお願いします。

**横浜ゆめかせ歌謡祭2026**

2026年 10月20日(火)

開場10:30 一般発表会10:45~ 歌謡ショー15:30~

戸塚区民文化センター

**さくらプラザホール**

JR・地下鉄 戸塚駅より直結 戸塚区総合庁舎内4F

観覧チケット

《1F指定席》¥6,000

《2F自由席》¥4,000

SPECIAL GUEST

作曲 西つよし & SHIGEZO 公事欄

お問合せ: 070-6973-6898 (千葉山貴公事務局)



## 会員の作品

### 【アニメーター】 長谷川真也(84期)

平沼で劣等生だった私は、勉強もせずバイトと漫画描きに明け暮れていました。  
進学できず、苦し紛れにアニメ業界の門を叩いて、気付けば還暦間際。よく続いたと自分でも驚いています。



おとめ妖怪ざくろ  
© 星野リリィ／幻冬舎コミックス・ざくろ製作委員会



キルミーベイベー  
© カヅホ・芳文社／キルミーベイベー製作委員会



贅姫と獣の王  
© 友藤 結・白泉社／「贅姫と獣の王」製作委員会

### 【東京藝術大学大学院 日本画専攻修士課程1年】 伊藤ゆきの(115期)

平沼祭の出し物や寄せ書きで絵を描いたり、絵を描くことを通して人と関わったりした経験は私にとってかけがえのない思い出です。



「静物」M50号



「箱庭」F150号

### 真澄会室のご利用予約

真澄会室  
WEB予約

真澄会室のご利用予約が  
ホームページからできます。

### 真澄会のSNS

真澄会では、有志の方にご協力いただき、SNSを通してさまざまな情報を発信しております。ぜひフォローやお友達登録をお願いいたします。

真澄会ホームページにある以下のアイコンをクリックすると、それぞれのSNSページが開きます。



こんにちは！ 真澄会事務局です

事務局は、**毎週火曜日**に在室しております。連絡事項、問い合わせ等は、10時～15時の間にお電話ください。

**Tel: (045) 311-3356**

**E-mail: jimukyoku@masumikai.org**

事務局：高橋(高橋)節子(75期)  
小林(山下)陽子(79期)  
野崎(川崎)めぐみ(83期)  
HPスタッフ：日下(川崎)由佳(84期)  
祖父江(坂上)美也子(100期)  
森(相澤)真梨(108期)  
総務スタッフ：中村(大村)晴美(71期)  
保坂(藤牧)泉(79期)

私たちと一緒に活動して下さる方を募集中です！  
お気軽にご連絡ください!!



小林 野崎 高橋

### 編集後記

68号は、昨年11月の母校創立125周年記念式典を特集しました。式典に来られなかった方に、写真を見るだけでもその場にいるような感覚を味わっていただこうというコンセプトです。いかがでしたでしょうか？

広報メンバーも新人3人とベテラン2名で頑張りました。私事ながら、25年勤めた事務局を退職し、広報委員会の新人となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

編集長：岸村(内田)恵子(71期)

### 広報委員

小林(山下)陽子(79期)  
佐野(野村)紀子(79期)  
スタッフ：鈴木(茅野)久美子(75期)  
佐藤(山本)祥子(75期)



真澄会の  
ホームページ

[https://masumikai.securesite.jp/sp20/sp\\_main/](https://masumikai.securesite.jp/sp20/sp_main/)

## 神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会誌 ますみ(真澄会報)第68号

発行日 2026年(令和8年)9月1日

発行所 神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会 真澄会

発行責任者 小野 力

〒220-0073 横浜市内西区岡野1-5-8 横浜平沼高等学校内 電話 (045)311-3356

